CONTENTS

02 社長挨拶
04 群馬ヤクルトの歴史
08 5期連続（15年）最優秀販売会社賞受賞
09 取り組み紹介1 群馬ヤクルトのSDGs
10 取り組み紹介2 共助社会の担い手としての群馬ヤクルト
11 取り組み紹介3 健康経営優良法人2021（ブライト500）を認定
12 取り組み紹介4 新型コロナウイルスに関する対応策
16 取り組み紹介5 GENKI応援プロジェクトチーム始動!!
18 取り組み紹介6 「ボイスの時間」（1on1ミーティング）
20 全社横断プロジェクトとサークル活動
20 新ビジネスモデルプロジェクト
22 業務の仕組み化プロジェクト
24 エンゲージメント向上プロジェクト
26 管理栄養士サークル
28 2020年度 チャレンジ賞
33 取り組み紹介7 エフエム群馬 スマイルレポート
34 2020年度 新入社員紹介
35 取り組み紹介8 スポーツ社員の活動
36 部門紹介
36 宅配サービス部
56 化粧品サービス部
62 価値普及マーケティング開発部
68 直販サービス部
76 総務部
82 財務部
84 人材開発部
88 基盤開発部
90 広報部
94 新聞掲載記事紹介
96 地域社会とともに
102 表彰状・感謝状
103 取り組み紹介9 J2ザスパクサツ群馬
104 2021年度 経営基本方針 及び 事業計画骨子

報告範囲

- 対象期間／2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）
- 対象範囲／群馬ヤクルト販売株式会社

社長挨拶

健康社会の実現を目指して

私たち、群馬ヤクルトは、～一人でも多くのお客さまに「健康と美」をお届けすること～を使命としております。

近年、社会の取り巻く事業環境、少子高齢化に伴う人口減少や単身世帯の増加、健康志向や簡便性への高まり、消費スタイルの変化とともに価値観やニーズの多様化が進んでいます。

その中で私たちは、時代の変化に対応しながら、代田博士が目指した「予防医学」をあらゆる世代の皆さんへ伝え、群馬県の「健康寿命の延伸」に向けて、その取組みをさらに進化させてまいります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、健康であることの重要性が一段と高まりました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、予測もしていなかったリスクが顕在化し、難しい局面に立たされました。しかし、様々な感染予防対策、施策を通してお届け活動を行った結果、お客さまや社会から高い信頼、ご理解をいただきました。これはエッセンシャルワーカーになるための大きな自信と誇りにも繋がりました。

今回の新型コロナウイルス感染症の流行を含め、急速な社会変化に対応すべく、経営の柔軟性を高め、よりスピードを上げて事業基盤の変革に取り組みます。

今後も、社会的課題を解決するため、「共助社会」の担い手の一員として事業活動を展開し、安心して暮らせる社会を作るため地域とともに歩みます。

今年度も、従事者と一緒に、信頼、笑顔、感謝を大切に健康社会の実現を目指してまいります。

SLOGAN - 2021スローガン -

～強くて あたたかい
「つながり」を築こう!～

2021年4月1日　群馬ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長　塩谷　輝行

役員一覧

代表取締役会長
本田博己

代表取締役社長
塩谷輝行

専務取締役
イノベーション推進本部長
中島祥博

専務取締役
マーケティング本部長
関口明美

取締役
星野睦子

取締役
㈱ヤクルト本社常務執行役員
林田哲哉

取締役部長
宅配サービス部部門長
広兼昌隆

取締役部長
化粧品サービス部部門長
価値普及マーケティング開発部部門長
吉原篤

取締役部長
直販サービス部部門長
青木秀樹

取締役部長
財務部部門長
狩野麻紀

監査役
岩田徳之

新任役員紹介

取締役部長　狩野　麻紀（財務部部門長）

2020年5月株主総会にて取締役部長を拝命しました狩野麻紀です。私は、2009年に群馬ヤクルトへ入社し、総務部会計課に正式配属されました。現在は財務部で部門長として取り組んでおりますが、入社以前も銀行、病院の総務・経理を経験してきました。その30年の経験を活かし、全従事者の働きやすい環境整備に有効に投資し、サスティナブルな利益成長の実現へ向け、鋭意努力してまいります。

ご指導よろしくお願いいたします。

会社概要

商　　号	群馬ヤクルト販売株式会社	資 本 金	41,640千円
所 在 地	〒371-0857　群馬県前橋市高井町1-7-1		
電話番号	027-251-8960	年　　商	63億円（2020年度実績）
創　　業	1955年6月		
設　　立	1971年5月	従事者数	889名（2021年2月末時点）
代 表 者	本田博己・塩谷輝行		

事業内容

◆乳製品乳酸菌飲料・清涼飲料・食品・化粧品の販売

◆宅配ヤクルトスタッフによるお届けと、直販ルートによる店舗・自動販売機によりお客さまへ商品の提供

History of Gunma Yakult

群馬ヤクルトの歴史

年　史	
1955（昭和30年）	前橋（前橋市清王寺町）・高崎・沼田・太田、県内4社で創業。 「ヤクルト」の販売開始。
1958（昭和33年）	群馬県ヤクルト協同組合を設立し、瓶詰め工場生産開始。
1966（昭和41年）	婦人販売店制度導入。
1967（昭和42年）	プラスチック容器導入。
1971（昭和46年）	合併により5月18日群馬ヤクルト販売株式会社（前橋市高井町）設立。 ヤクルト婦人販売店460人。 化粧品事業開始。
1975（昭和50年）	群馬ヤクルト「友の会」旅行関連事業開始。
1979（昭和54年）	直販（店舗、給食、自動販売機）事業開始。
1983（昭和58年）	ニューセンターシステム（NCS）営業展開開始。 「問屋町サービスセンター」第1号店開設。初の託児所施設開設。
1986（昭和61年）	ヤクルトネットワークシステム導入。
1989（平成元年）	対前年比売上伸長率全国第1位達成。 CYS（コスメティックヤクルトスタッフ）導入開始。三輪バイク導入。 営業直販部門で女性嘱託社員の積極的登用開始。
1990（平成2年）	物流センターを新設。
1992（平成4年）	全国ヤクルトグループ大会において、優秀販売会社として成果を発表。
1995（平成7年）	化粧品ホームエステサービス開始。
1996（平成8年）	お客さま向け情報誌「すてき!生活通信」創刊。
1999（平成11年）	宅配部門に、電気自動車導入開始。190台導入。
2000（平成12年）	顧客管理システム（携帯端末）導入。2010年ビジョン策定。 群馬県ヤクルト協同組合製造廃止。
2001（平成13年）	コールセンター開設。 群馬県ヤクルト協同組合から群馬県プロバイオティクス普及組合に名称変更。
2002（平成14年）	ヤクルトグループ全国優秀販売会社賞受賞。 お客さま向け工場見学開始。
2003（平成15年）	EYS（エクセレントヤクルトスタッフ）制度開始。 CS推進室設置。お客さま向け健康フェア開始。
2004（平成16年）	ヤクルトグループ全国最優秀販売会社特別賞受賞。 社会貢献委員会設置。ヤクルトご意見番設置。ISO9001認証取得。
2005（平成17年）	創業50周年。ISO14001認証取得。Pマーク認証取得。 星野哲也（株）ヤクルト本社取締役に就任。 群馬県警察本部と「安全・安心パトロール協定」の締結。
2006（平成18年）	ヤクルト健康プラザ（前橋北・高崎西）新設。ホームページ開設。
2007（平成19年）	「健康宣言」提唱。"私たちはお客さまの健康に役立ちます。"
2008（平成20年）	前橋市が乳酸菌飲料年間購入金額全国1位になる。（総務省家計調査） ヤクルトグループ「総合最優秀販売会社賞」受賞。
2009（平成21年）	高崎問屋町駅前サービスセンター・高崎南サービスセンター移転新築。 星野哲也（株）ヤクルト本社東日本支店支店長就任。 ISO22000認証取得。
2010（平成22年）	渋川北サービスセンター新設。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門・化粧品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞。全サービスセンターに入金管理機設置。
2011（平成23年）	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞（2期連続）。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞。 電気自動車（商用車）3台導入。
2012（平成24年）	群馬ヤクルト販売改築・増築。太田宝泉サービスセンター新設。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門受賞。 宅配部門に新型電気自動車100台切り替え・導入。

歴代社長

1955（昭和30年）–

前橋ヤクルト　星野　武之助
沼田ヤクルト　竹田　久三
高崎ヤクルト　中村　初男
木崎ヤクルト　木村　淳一

1971（昭和46年）–

4つのヤクルトが合併
「群馬ヤクルト販売株式会社」設立

1971-
竹田　久三

2013（平成25年）	駒形サービスセンター、みなかみサービスセンター移転・新築。 藤岡南サービスセンター新設。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他4部門受賞。 ヤクルトスタッフの社員登用を開始。ビジョン2020を策定。 群馬県地域見守り支援事業協定の締結。
2014（平成26年）	前橋中央サービスセンター、平成大橋サービスセンター改築。 長野原サービスセンター新設。 ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞（3期連続）。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞。 ヤクルトスタッフの社員登用8期目完了。下仁田サービスセンター移転。 東日本大震災 復興応援「がんばろう東北！」を企画。
2015（平成27年）	群馬ヤクルト創業60周年。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞。 ビジョン2020+策定。 プロジェクトチーム発足。（ビジョンプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリング・DBプロジェクト、CSネットワーク推進連絡会議） 社内広報誌「Voice」発刊。ふれあいエピソード集「スマイルレポート」発刊。 「Voice会議」を設置。共有プログラム『★STAR'S活動624』スタート。 ヤクルトスタッフ週休3日制テスト導入。
2016（平成28年）	笠懸サービスセンター移転・新築。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞。 第2期プロジェクト始動。（価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト、ファイリングDBプロジェクト）。 2016年版宅配・化粧品サービス成功事例集発刊。 「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」の価格改定。 群馬県と「健康づくり推進連携協定」を締結。
2017（平成29年）	富士見サービスセンター新設。藤岡サービスセンター、大胡サービスセンター移転・新築。 ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞（4期連続）。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞をはじめ他5部門を受賞。 第3期プロジェクト始動。（価値普及マーケティングプロジェクト、経営品質向上プロジェクト） サークル活動始動。（管理栄養士サークル） 2017年版宅配・化粧品サービス部成功事例集の発刊。 前橋市と「健康づくり推進連携協定」を締結。 高崎市と「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」を締結。 玉村町と「地域社会づくり連携に関する協定」を締結。 藤岡市と「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」を締結。 ヤクルトスタッフへ軽自動車導入開始。
2018（平成30年）	ヤクルト健康プラザ（前橋北・高崎西）廃止。 （株）ヤクルト本社東日本支店 乳製品部門最優秀賞、化粧品部門優秀賞受賞。 第4期プロジェクト始動（エリア価値普及プロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、新世代プロジェクト）。 サークル活動第2期（管理栄養士サークル）。 第4世代型携帯端末（スマートフォン）の導入。 前橋北サービスセンターの移転・新築。 高崎西サービスセンターの移転・新築。 健康優良企業に認定。 渋川市と「連携協力に関する協定」を締結。 安中市と「連携協力に関する協定」を締結。 富岡市と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結。 沼田市と「連携協力に関する協定」を締結。 「届けてネットサービス」 の開始。
2019（令和元年）	甘楽町と「甘楽町地域づくり連携協力に関する協定」を締結。 榛東村と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結。 （株）ヤクルト本社東日本支店（宅配部門）乳製品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞、化粧品部門優秀賞。 （株）ヤクルト本社東日本支店（直販部門）乳製品実売人口比優秀賞、売上指数優秀賞。 第5期プロジェクト始動（新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組み化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト）。 サークル活動第3期（管理栄養士サークル）。 松井田サービスセンターの移転・新築。 ヤクルト400発売記念／代田稔博士生誕120周年企画実施。 健康経営優良法人2020を取得。 電子決済サービスの導入（QRコード決済）。
2020（令和2年）	ヤクルトグループ総合最優秀販売会社賞受賞（5期連続）。 ヤクルトグループ部門優秀賞受賞（乳製品部門、化粧品売上高インデックス値部門）。 ㈱ヤクルト本社東日本支店（宅配部門）乳製品部門優秀賞、化粧品部門優秀賞、ヤクルト400優秀賞。 ㈱ヤクルト本社東日本支店（直販部門）乳製品実売人口比優秀賞、実売指数優秀賞、量販店マーケット優秀賞。 第6期プロジェクト（新ビジネスモデルプロジェクト、業務の仕組化プロジェクト、エンゲージメント向上プロジェクト）。 第5期サークル活動（管理栄養士サークル）。 吉岡町と「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」を締結。 嬬恋村と「地域社会づくり連携協力に関する協定」を締結。 みなかみ町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結。 中之条町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結。 前橋市と「地域社会づくり包括協定」を締結。 東吾妻町と「地域づくり連携協力に関する協定」を締結。 高崎市教育員会より社会功労者表彰。 群馬県老人クラブ連合会と「地域づくり連携協定」を締結。 健康経営優良法人2021中小企業部門（ブライト500）認定。

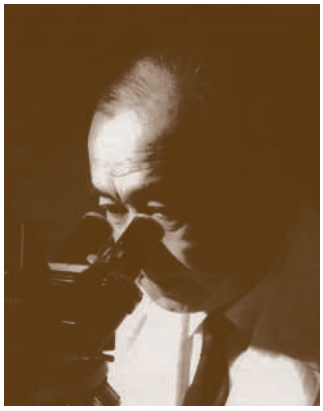
1972-
中村　初男

1999-
本田　博己

2003-
星野　哲也

2015-
塩谷　輝行

健康への情熱、発想
「世界の人々の健康を守りたい」



代田稔
（1899～1982）

（株）ヤクルト本社
元代表取締役会長兼中央研究所所長

生涯を腸内菌の研究と予防医学の普及に捧げ、1982年、82歳で生涯を閉じる。

ヤクルトの創始者で医学博士の代田 稔が京都帝国大学（現在の京都大学）で医学の道を歩みだしたのは1921年。その当時日本はまだ豊かとはいえず、衛生状態の悪さから感染症で命を落とす子どもたちが数多くいました。

そんな現実に胸を痛めていた医学生時代の代田は、病気にかかってから治療するのではなく、病気にかからないようにする「予防医学」を志し、微生物研究の道に入ります。

そこで乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見、これをさらに強化培養することに世界で初めて成功します。

それが、今日「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれる学術名 ラクトバチルス カゼイ シロタ株という乳酸菌です。

その後、代田は、生きて腸内に到達し、有用な働きをする「乳酸菌 シロタ株」を、一人でも多くの人々に摂取してもらうため、有志と共に安価でおいしい乳酸菌飲料として製品化します。そして1935年、乳酸菌飲料「ヤクルト」が誕生しました。

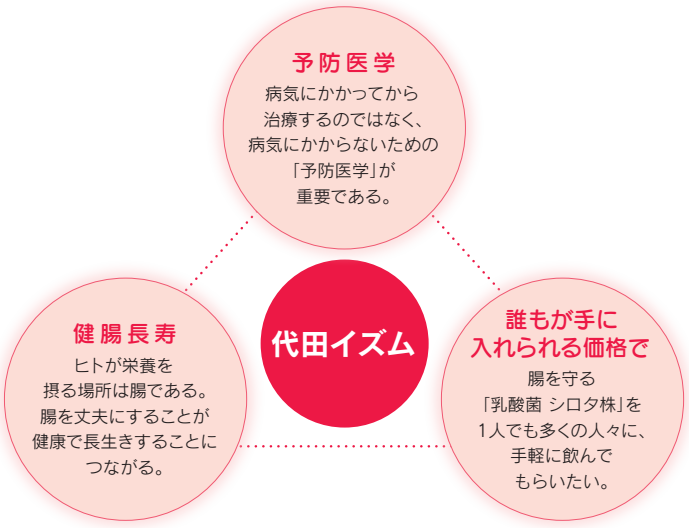
世界の人々の健康を守りたい。

代田 稔の情熱と発想、飽くなき探究心は、今も、脈々と受け継がれています。

Shirota-Ism

ヤクルトの原点　代田イズム

ヤクルトでは、
創始者である代田の考えを
「代田イズム」と呼び、
現在もすべての事業の
原点としています。



Our Mission

私たちの使命

一人でも多くのお客さまに
「健康と美」をお届けすること

スローガン

一人一人が主役、最高のチームを創ろう！
強い「つながり」を築こう！

私たちが大切にしている価値観

1 利他の心

私たちは、思いやりの心ですべての人々を笑顔にします。それが私たちの喜びです。

2 顧客本位

私たちは、お客さまの健康と幸せを願い、寄り添いながら信頼関係を築き、満足・感動を提供します。

3 価値普及

私たちは、対話を通じて「乳酸菌 シロタ株」・「シロタエッセンス」を一人でも多くのお客さまに体感・理解していただく活動を追求していきます。

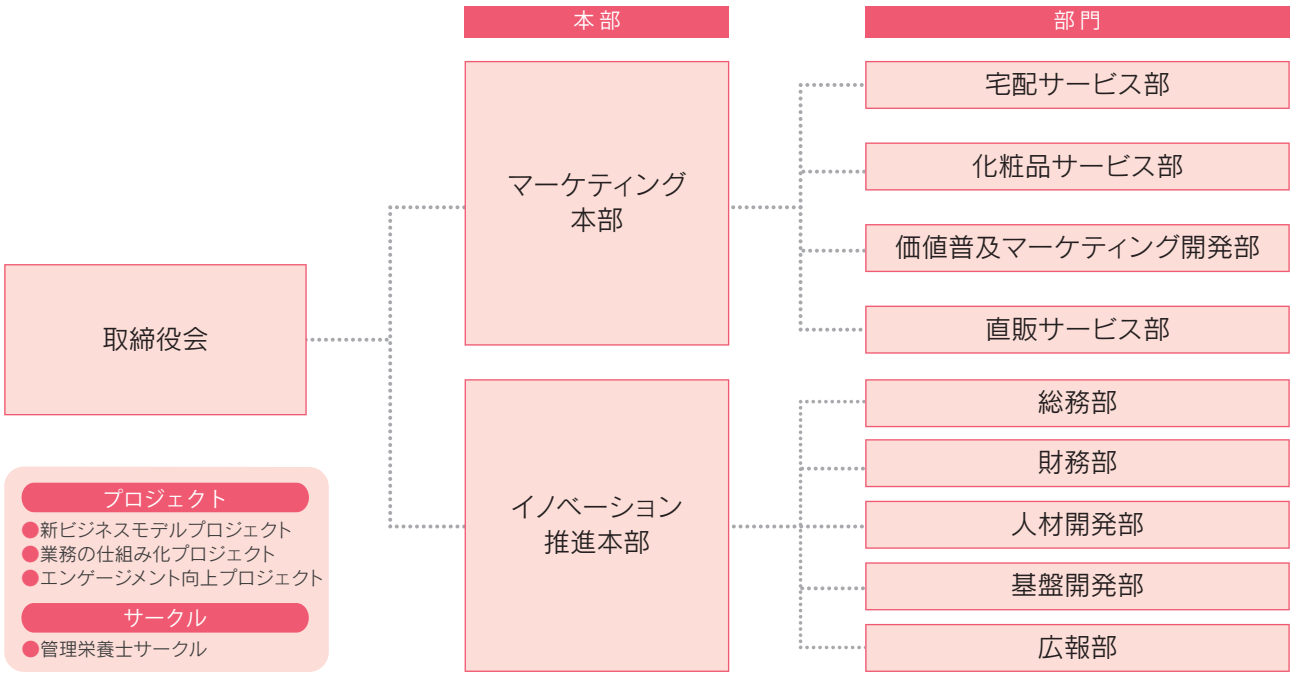
4 生産性の向上

私たちは、一人一人のリーダーシップとチーム力で、「質の高いサービス」・「仕事と生活の調和」を追求し、お客さま・従事者の幸せを実現します。

5 革新の精神

私たちは、世の中の動きを敏感に捉え、新たな価値を生み出すことに挑戦し続けます。

2020年度組織体制



5期連続(15年) 最優秀販売会社賞 受賞

当社は5期連続(15年間)最優秀販売会社賞を受賞致しました。部門優秀賞では乳製品人口比部門・化粧品インデックス値部門で表彰されました。

これからも、ヤクルトグループのリーディングカンパニーとして慢心することなく、私たちの使命を果たしていきます。

最優秀販売会社賞

部門優秀賞 乳製品人口比部門

部門優秀賞 化粧品売上高インデックス値部門

◆表彰式典の様子(2020年11月19日 ステーションカンファレンス東京)

スローガン

一人一人が主役、最高のチームを創ろう!
強い「つながり」を築こう!

取り組み紹介 1

Special Feature

群馬ヤクルトのSDGs

企業理念とSDGsの関わり

群馬ヤクルトの使命は、一人でも多くのお客さまに「健康と美」をお届けすることです。創業時の想いや活動指針を信条にまとめ20年以上前から全従事者で取り組んでいます。ヤクルトの信条にSDGsに通じる想いが込められています。

群馬ヤクルトの信条

一、お客さまの健康と美しさに寄与することが私たちの使命である。
　一人でも多くの人にご利用していただき
　満足と幸せを提供しよう。
一、お客さまから支持されるサービスを提供しよう。
　そして地域社会に心をこめて貢献しよう。
一、仕事を通じ人生の夢と目標を達成しよう。
　互いに協力し全員が幸せになろう。

群馬ヤクルトとSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsは世界規模の目標ですが、一人一人ができることをみんなで協力して取り組むことが重要です。未来の子ども達が健康で過ごせる様に、群馬ヤクルトでは、従事者一人一人が協力してSDGs達成に取り組みます。

群馬ヤクルトの特に関係の深い6つの目標

目標 3 すべての人に健康と福祉を

健康に役立つ商品の販売・お届けを通じて、一人でも多くのお客さまの健康に貢献します。

目標 4 質の高い教育をみんなに

子どもからご高齢の方まで、さまざまな世代に正しい健康情報を提供します。

目標 5 ジェンダー平等を実現しよう

ヤクルトスタッフの労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現を目指します。

目標 8 働きがいも経済成長も

事業の生産性を高めつつ、従事者がいきいきと働く会社であり続けます。

目標 11 住み続けられるまちづくりを

地域社会の一員として、住みよいまちづくりに貢献します。

目標 17 パートーナーシップで目標を達成しよう

関係する皆様とのつながりを大切に、目標達成を目指します。

取り組み紹介
2

Special Feature

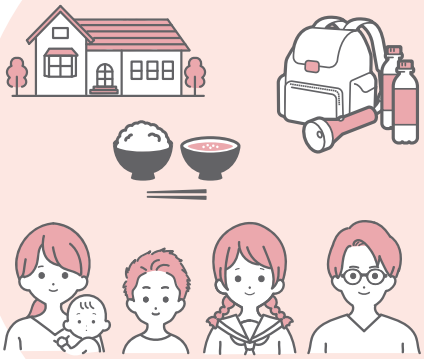
共助社会の担い手としての群馬ヤクルト

共助社会で私たちにできること

群馬ヤクルトでは、自治体や消防・警察などと連携し、ヤクルトのお届けを通して、健康的な生活に貢献し、地域の皆さまと一緒に安心・安全な地域づくりを目指します。

自助

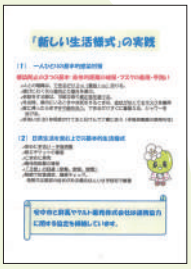
自分で自分を守ること



公助

市町村や消防・警察などの公的な支援のこと

地域の皆さまの見守りチラシの配布



健康情報・新型コロナウイルス感染症注意喚起チラシの配布

共助

地域の方々など、
周りの人たちと助け合うこと

振り込め詐欺啓発チラシの配布

秋季・春季火災予防運動での広報活動

新型コロナウイルス感染症予防にお役立ちするためNewヤクルトを学童・病院に寄贈

お届けを通した地域の見守り活動

地域サロン等での健康教室の開催

公助と共助をつなぐ

地域包括連携協定を締結しています!!
（2020年度までに1県7市6町2村1団体と締結）

～群馬を元気にするために、群馬ヤクルトは“地域のみなさまとともに”歩んでまいります～

取り組み紹介
3

Special Feature

健康経営優良法人2021（ブライト500）を認定

健康経営優良法人2021

群馬ヤクルトは、「健康経営優良法人2021（中小規模部門）」に認定されました。健康経営優良法人とは、経済産業省の日本健康会議から、「地域の健康課題に即した取り組みや健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している」として認められた企業です。

健康経営優良法人 ブライト500とは

健康経営優良法人2021の中から「健康経営優良法人の中でも優れた法人」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている法人」として優良な上位500法人のことです。

2021 健康経営優良法人 Health and productivity ブライト500

選定基準

- 健康経営優良法人の中でも優れた法人であることを重視し、選択項目15項目中12項目以上適合していることを条件とする
- 「健康経営の評価項目における適合項目日数」および、申請する「健康経営の取り組みに関する地域への発信状況」を評価する

その上で、以下のウエイトで配点し上位500法人を選定する

分類	ウエイト
健康経営の評価項目における適合項目数	3
健康経営の取り組みに関する自社からの発信状況（自社HPへの掲載等）	2
健康経営の取り組みに関する外部からの発信依頼を受けての発信状況（取材、講演会の対応等）	2

群馬ヤクルトの取り組み

当社は、全従事者自身が健康であることが、最も重要と位置づけ、健康経営の実現に向け様々な取り組みを行っております。

同時に、群馬県の市町村と包括連携協定を締結し、健康経営に取り組んでいる企業様や学校などの教育機関等で、健康教室や食育教室を開催し、共助社会の担い手として地域の健康増進活動にも取り組んでいます。

ヤクルトスタッフによる職場への宅配サービス

乳酸菌自動販売機のご案内

美容体感会の開催

健康情報の提供

福利厚生（須藤病院様）

福利厚生（ジュンコーポレイション様）

取り組み紹介
4-1

Special Feature

新型コロナウイルスに関する対応策

群馬ヤクルトの社内取組み

自社の新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定

『新型コロナウイルス』感染に対するガイドライン

サービスセンター所属従事者（本人・同居家族）

		37.5℃以上の発熱・強い倦怠感、咳、息苦しさ、味覚、嗅覚の異変など体調不良の症状がある場合 ※勤務中に体調が悪くなった場合は、退勤すること	保健所が濃厚接触者と１m以内、１５分以上の接触をした可能性があると判断された場合	保健所に濃厚接触者と判断された場合	PCR 検査にて新型コロナウイルス感染者(陽性)と診断された場合
本人 同居家族	就業	自宅待機	濃厚接触者のＰＣＲ検査結果を待ち自宅待機	本人のＰＣＲ検査を待ち自宅待機	出勤停止
	休業期間	新型コロナウイルスの感染ではないと医師より診断されるか、症状がなくなってから２日間（原則、医療機関を受診すること）	本人との濃厚接触者が陰性と確認されてから３日間 同居家族との濃厚接触者が陰性と確認されてから１日間	濃厚接触者と判断された日から１０日間（PCR 検査で陽性の場合）	保健所の指示に従い所定期間入院し、医師の許可が出るまで
	収入補償	あり ※１	あり ※１	あり ※１	あり ※１
SC エステルーム キッズルーム	閉鎖	しない	しない	しない	保健所判断による
	商品	通常使用	通常使用	通常使用	保健所判断による

※１ 新型コロナウイルスの影響により、前年１年間の平均月間収入を下回った場合（１年未満の場合、在籍期間の平均月間収入で計算）

サービスセンター所属従事者（本人・同居家族）に陽性者発生時の対応

状況	事業活動	対応方法	
陽性者に対し濃厚接触者なし	従来と同じ事業活動を行う	社外対応	第三者「お客様・得意先」に報告の必要なし
		社内対応	該当 SC のメンバーには正しく説明するが、第三者に対し個人情報の流出は絶対にしない コロナハラスメントをしない
陽性者に対し濃厚接触者あり	従来と同じ事業活動を行う	社外対応	濃厚接触者の方々に丁寧な説明をして納得していただく 関係者以外の第三者に「お客様・得意先」に報告の必要なし
		社内対応	濃厚接触者や該当 SC のメンバーには正しく説明するが、それ以外の第三者には個人情報の流出は絶対にしない コロナハラスメントをしない

相談窓口 総務部 町田部長までお願いします。

作成日 2020.4.22
2020.6.1 改訂
2020.6.30 改訂
※赤字箇所を改定しました 2020.9.1 改訂

『新型コロナウイルス』感染に対するガイドライン

本店勤務従事者（本人・同居家族）

		37.5℃以上の発熱・強い倦怠感、咳、息苦しさ、味覚、嗅覚の異変など体調不良の症状がある場合 ※勤務中に体調が悪くなった場合は、退勤すること	保健所が濃厚接触者と１m以内、１５分以上の接触をした可能性があると判断された場合	保健所に濃厚接触者と判断された場合	PCR 検査にて新型コロナウイルス感染者(陽性)と診断された場合
本人 同居家族	就業	自宅待機	濃厚接触者のＰＣＲ検査結果を待ち自宅待機	本人のＰＣＲ検査を待ち自宅待機	出勤停止
	休業期間	新型コロナウイルスの感染ではないと医師より診断されるか、症状がなくなってから２日間（原則、医療機関を受診すること）	本人との濃厚接触者が陰性と確認されてから３日間 同居家族との濃厚接触者が陰性と確認されてから１日間	濃厚接触者と判断された日から１０日間（PCR 検査で陽性の場合）	保健所の指示に従い所定期間入院し、医師の許可が出るまで
	休業補償	あり ※１	あり ※１	あり ※１	あり ※１
本店	閉鎖	しない	しない	しない	保健所判断による
	商品	通常使用	通常使用	通常使用	保健所判断による

※１ 会社の指示により休業となった場合、特別休暇とする（特別休暇：年次有給休暇には含まない休暇）

本店勤務従事者（本人・同居家族）に陽性者発生時の対応

状況	事業活動	対応方法	
陽性者に対し濃厚接触者なし	従来と同じ事業活動を行う	社外対応	第三者「お客様・得意先」に報告の必要なし
		社内対応	第三者に対し個人情報の流出は絶対にしない コロナハラスメントをしない
陽性者に対し濃厚接触者あり	従来と同じ事業活動を行う	社外対応	濃厚接触者の方々に丁寧な説明をして納得していただく 関係者以外の第三者に「お客様・得意先」に報告の必要なし
		社内対応	濃厚接触者には正しく伝えるが、それ以外の第三者には個人情報の流出は絶対にしない コロナハラスメントをしない

相談窓口 総務部 町田部長までお願いします。

作成日 2020.4.1
2020.9.1 改訂

全従事者への新型コロナウイルス対策及び対応

- コロナ禍におけるお届けルール策定とご協力のお願い
- 全従事者へマスクの支給
- 全従事者へ消毒液の支給
- 全従事者へハンドクリームの支給
- 全スタッフへお届け業務に対する特別感謝金の支給
- 全センターへパーテーションの設置
- 月収が減ってしまったスタッフへの収入補償
- 健康アドバイザーの時短勤務
- エッシェンシャルワーカーとしての認識と評価

感染対策

検温

体温計を
各サービスセンターへ

45本

マスク

従事者へ

延べ**100,000**枚

消毒液

従事者へ1本ずつ

合計**920**本

自治体・警察からの協力要請

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う見守り活動への要請と同時に、フレイル予防として高齢者世帯への運動指導チラシ配布の協力依頼を受けました。それを受けヤクルトスタッフが、ご家庭へ見守りやお声がけを行い、自治体・警察からの要請に協力いたしました。

自治体からの協力要請

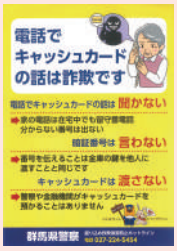
渋川市、安中市との健康増進や福祉向上に向けた連携協定に基づき、新型コロナウィルス感染予防啓発チラシの配布依頼がありました。どちらのチラシも高齢者を対象にしたチラシになっており、安中市のチラシには椅子に座りながらできる体操などが掲載されています。

渋川市

安中市

警察からの協力要請

群馬県警察本部より新型コロナウィルスに便乗した詐欺等の啓発依頼がありました。群馬ヤクルトは振り込め詐欺等根絶協議会の会員であり、ヤクルトのお届けを通じて振込詐欺を防止します。



取り組み紹介
4-2

Special Feature

新型コロナウイルスに関する対応策

病院・学童へNewヤクルト寄贈

社会貢献活動の一環としてNewヤクルトを県内の病院・老健・学童に寄贈しました。訪問先の理事長、病院長、事務長、医療スタッフ、介護従事者の皆さまから、「大変励みになり、感謝します」との声を何度も頂きました。

2020年度 新型コロナウイルスにおける医療従事者及び児童へのNewヤクルト寄贈状況 ※2020年5月末現在

病院	老健	学童	寄贈総本数
42施設	43施設	33箇所	約127,200本

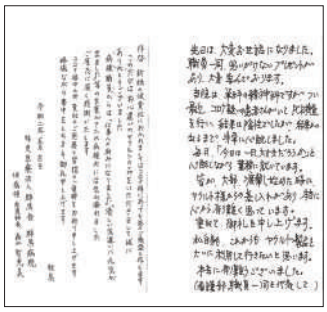
医療法人健英会 介護老人保健施設おうみ 様

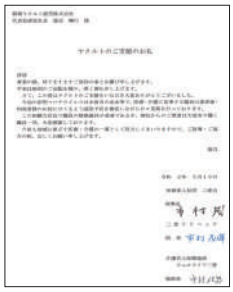
JA前橋市地域密着型介護ホーム上陽 様

日本赤十字社 原町赤十字病院 様

富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院 様

訪問先の皆さまから様々なお声をいただきました!





学童保育から
かわいいお礼の手紙を
頂きました

医療法人
高柳会　赤城病院
鷲山　一麿 様

2020年はいまだ終息に至らぬ新型コロナウイルスとの戦いの1年でした。緊急事態宣言が発令され医療従事者も未知のウイルスから患者さん・家族そして自分自身を守りながらの勤務を強いられ、不安と恐れから、心身ともに少し疲弊しはじめた頃に、群馬ヤクルト様より全職員分のヤクルトを寄贈いただき、職員がみんな笑顔でヤクルトを持ち帰るシーンが思い浮かびます。その後、2回目の寄贈をいただきとても勇気づけられました。群馬ヤクルト販売様の医療従事者サポートの取組みは単にヤクルトを無料で医療機関に配布するというものではなく、医療従事者へ感謝の気持ちと優しさにヤクルトを添えて届けていただいたんだと思います。

心は身体を動かす原動力ですが、感謝の気持ち・優しさは人を動かす原動力・勇気の源だと私は思います。

取り組み紹介 5

Special Feature

価値普及マーケティング開発部 健康推進課
GENKI応援プロジェクトチーム 始動!!

群馬ヤクルトが県内企業を元気にする健康経営の提案へ

主な提案項目：飲用体感会・職場の健康応援DAY・健康教室・福利厚生・健康情報の提示 etc...

実施事例の紹介

ヤクルト飲用体感会の実施

日新電機株式会社 様（前橋市）

従事者様向けにヤクルト飲用体感会を実施しました。3日間昼食時間にYakult1000をお配りし、健康情報をお伝えしました。

飲用体験の様子（社員食堂にて）

株式会社日新ビジネスプロモート
篠原　貴子 様

日新ビジネスプロモートでは日新電機従業員の皆さんが社内で快適に過ごせるようサポートを行っています。以前から健康づくりの取り組みを行っていますが、2020年は新型コロナの影響で40～50代を中心に健康意識がより高まっていると感じています。おおらかな社風なので、一人一人が感染症予防に取り組んで自分自身を守り、みんなで会社を守っています。御社には8月に「飲用体感会」を食堂で実施していただき、よい雰囲気で好評でした。今後も、従業員の皆さんに喜んでもらえるサポートをお願いしたいと思います。

職場の健康応援DAY

NSKステアリングシステムズ株式会社 様（前橋市）

職場の健康応援DAYとして、Yakult1000の試飲や血管年齢測定、管理栄養士による健康相談及び健康教室などを、前橋市内2か所の工場で計8回実施しました。

血管年齢測定の様子

NSK ステアリングシステムズ株式会社
GL 人財開発室 保健師
大嶋　博美 様　小堀　美乃里 様

「従業員とその家族の『からだ』と『こころ』の健康は、会社の重要な財産であり、みんなで楽しく健康づくりをはじめよう。」弊社では経営トップからも発信し、健康経営を目指して、日々、様々な活動を行なっています。その一環として健康教室を依頼させていただきました。

「職場の健康応援DAY」では、従業員から、「血管年齢測定は初めて。健康状態をみる目安になるね」などの声や、数値で見る心身の状態、毎日の食事に注意するなど、今までよりも更に健康を意識するようになったのではないかと感じています。

今回、私たちも管理栄養士の方と一緒に従業員と直接対話をいたしました。管理栄養士の弊社従業員への接し方に刺激をもらったり、普段よりも多くの従業員と関わることができたりと、とても良い機会となりました。

GENKI応援プロジェクトチームメンバー

福利厚生としてヤクルトの活用❶

医療法人済恵会 須藤病院 様（安中市）

医療従事者の皆さまへ、3ヶ月間Yakult1000を提供し、感染症対策にお役立ていただきました。それ以降は希望のタイミングで商品を購入できるよう、ショーケースを設置させていただいています。

上毛新聞に掲載されました

医療従事者 飲料で応援

2020年12月30日
上毛新聞より

医療法人済恵会 須藤病院
病院長
須藤　英仁 様

コロナ対応に追われる中、医療従事者に対して3ヶ月間のYakult1000の無償提供をいただきました。150名以上がエントリーしました。

当院はコロナ感染症が群馬県で発症が確認された2020年3月以来、発熱外来、PCR検査センターを運営し、さらにコロナ感染症疑い患者さんの対応を行っています。

ICD（感染専門医師）ICN（感染専門看護師）を中心に活動を続けてきましたが、群馬ヤクルトさんからの申し出は非常にありがたく職員一同、さらにコロナ感染の戦いにモチベーションがあがりました。医療従事者の退職増が喧伝されるなか、おかげさまで当院では一名の離職者もなく診療を続けられました。

また今年からは健康経営を目指し、すべての従業員の定期検診のさらなる充実を図っています。これも群馬ヤクルトさんから示された健康への思いが引き金になりました。3ヵ月経過後、当然ながら引き続きショーケースを置かせて頂き、機会あるごとにヤクルト飲用を続けていることは言うまでもありません。

福利厚生としてヤクルトの活用❷

株式会社ジュンコーポレイション 様（安中市）

ヤクルト400LTを毎日1本飲めるよう、食堂にショーケースを設置させていただきました。

株式会社ジュンコーポレイション食堂にて

株式会社ジュンコーポレイション
代表取締役
小板橋　義和 様

ヤクルトの存在自体が人類の健康と美を守っている、社員の笑顔がみな心からにじみ出ているヤクルト様には敬服いたします。20代のころ胃を痛め、試行錯誤の結果、ヤクルトを飲みつづけて30年。風邪もひかず過ごせるのもヤクルトのおかげかもしれません。それならば、社員にも毎日1本配ることを思いつき、即決しました。体質を根本から改善して免疫力のある体づくりを会社が担っていれば、ご家族も安心して「いってらっしゃい」と送り出してくれることでしょう。「社員の健康は会社が守る！」です。

取り組み紹介
6

Special Feature

「ボイスの時間」（1on1ミーティング）

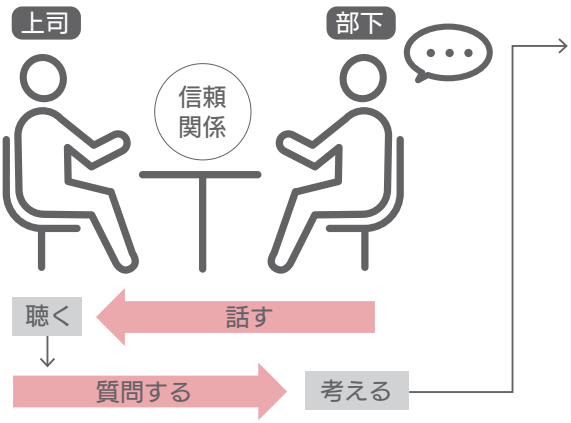
ボイスの時間とは

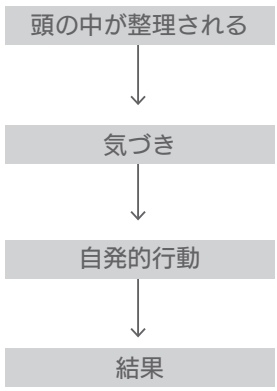
部下の成長支援を目的とした、部下のための時間です。対等な人間同士であるという姿勢で臨み、上司と部下がお互いに何でも話せる関係の構築を目指すものです。

「ボイスの時間」基本ルール

- 一人の部下に対し、月に最低1回以上、30分間で行う。（但し30分以内厳守）
- 必ず就業時間内で行う。
- 実施場所として、社内会議室の他、zoom等を利用したオンラインや、社外のカフェやファミレス等での実施も可とする。

「ボイスの時間」が機能する仕組み



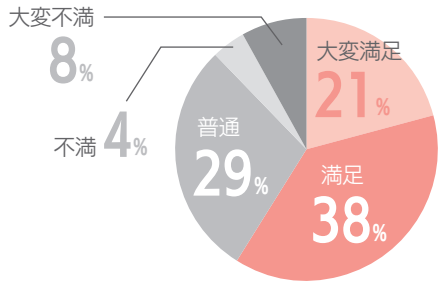


宅配サービス部　主任
原田　栞

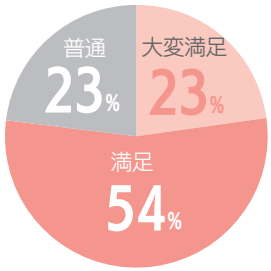
ボイスの時間を実施してから、以前より上司との距離が近くなったと感じます。もともとコミュニケーションが取れていなかったわけではありませんが、ボイスの時間でじっくりと話を聞いて頂くことでさらに関係性が深まり、普段から悩みや自分の意見を話しやすくなりました。いつも話を聞いてくださる上司に感謝しています。

「ボイスの時間」実施後アンケート　〈2020年9月 / 2021年1月〉

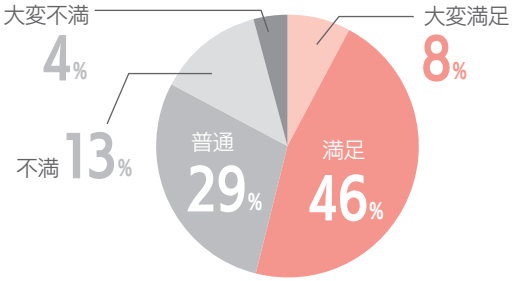
● 上司の傾聴　9月（全体導入開始時）



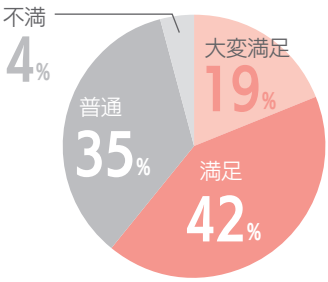
● 上司の傾聴　1月



● 満足度　9月（全体導入開始時）



● 満足度　1月



実際の声

何気ない話を上司とできる時間はとても大切。

30分だと少し短く感じる。

話をすると軽くなる。

悩みを聴いていただき、前向きになれた。

方向性が共有できた。

検討事項や課題について話す機会になっている。

人材開発部　次長
竹垣　咲紀

「ボイスの時間」において最も大切なことは、上司の「傾聴」です。上司が部下に関心を持ち、心の声に耳を傾けることで、部下の心理的安全性が高まり生産性向上にも繋がります。「ボイスの時間」での対話で、群馬ヤクルトがこれまで以上に強い信頼関係のチームとなるよう、上司側は更に研鑽し、部下にとって「価値ある時間」となることを目指していきたいと思います。

Project & Circle activity

新ビジネスモデル プロジェクト

プロジェクトメンバー

吉原　篤	化粧品サービス部(リーダー)	取締役部長
柳川　育廣	宅配サービス部(サブリーダー)	次長
広兼　昌隆	宅配サービス部	取締役部長
青木　秀樹	直販サービス部	取締役部長
大山　賢司	広報部	部長
武藤　大輔	価値普及マーケティング開発部	次長
角田　智博	宅配サービス部	課長
閑野　徹	基盤開発部	課長
大河原慶貴	直販サービス部	主任
岡田　知沙	化粧品サービス部	主任
中島　結香	価値普及マーケティング開発部	主任

活動テーマ

今プロジェクトでは宅配ビジネスモデルを核とした全社的なビジネスモデルの体系化を目指します。

我々が描くのは、未来を見据え世界共通の目標であるSDGsを意識したモデルであり、現在よりも地域との連携を深め、群馬に生きる人々の役に立つ「共助社会の担い手として地域になくてはならない会社」となることです。

人口減少少子高齢化が加速する日本社会においては、益々人と人とのふれあい、人の温かさ、人とのつながりが求められます。

ヤクルト創業100周年、群馬ヤクルト創業80周年を迎える2035年に向けて、新たなビジネスモデルのグランドデザインをプロジェクトで描きます。

2035年に向けた課題とプロジェクトの目的

1

全社的なビジネスモデルの体系化を目指し
共助社会の担い手としての全体像を描く。

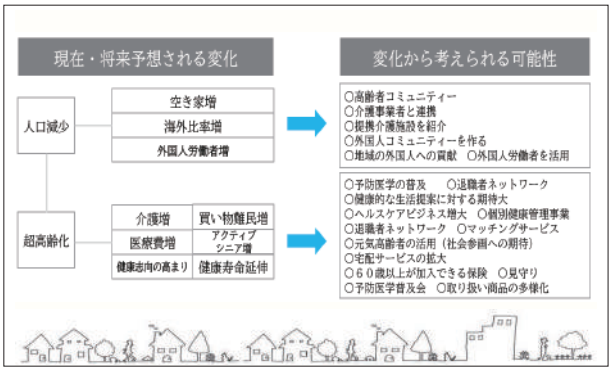
2

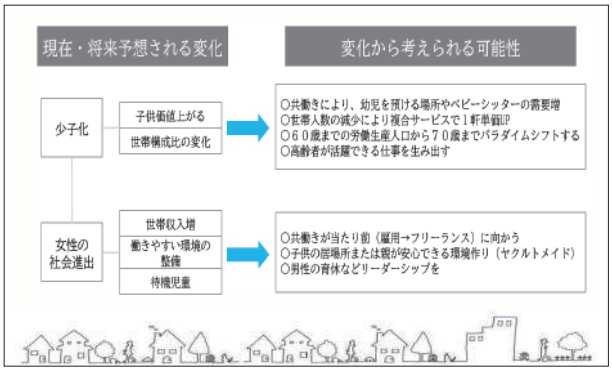
2035年までに
乳製品人口比20%を目指す。

SWOT分析

	機会	脅威
内部環境	1.地域に密着した宅配サービスの仕組み 2.顧客に直接価値普及が出来る 3.ブランドイメージが浸透している 4.託児所を運営　5.労働環境の整備 6.県内33のサービスセンター 7.地域を網羅したYS組織　8.YSの雇用化	1.ブランドに頼りすぎる一面がある　2.実績の鈍化 3.YS不足　4.YSの不安定収入 5.YSの社会保障への対応が出来ていない 6.ビジョンの浸透が希薄 7.ビジネスモデル(EYS)の有効性低下 8.部門間での横のつながりが弱い　9.顧客数の減少
外部環境	1.待機児童問題　2.アクティブシニア増 3.健康志向の高まり　4.買い物難民が増える 5.女性の社会進出　6.移民の受け入れ 7.人とのふれあいが重宝される　8.技術革新・IT化	1.人口減少　2.労働生産人口減　3.老老介護・認認介護 4.女性の過半数が50歳以上に　5.空き家が増える 6.独居世帯が増える　7.地域コミュニティの弱体化 8.少子化　9.超高齢化 10.地球環境の変化

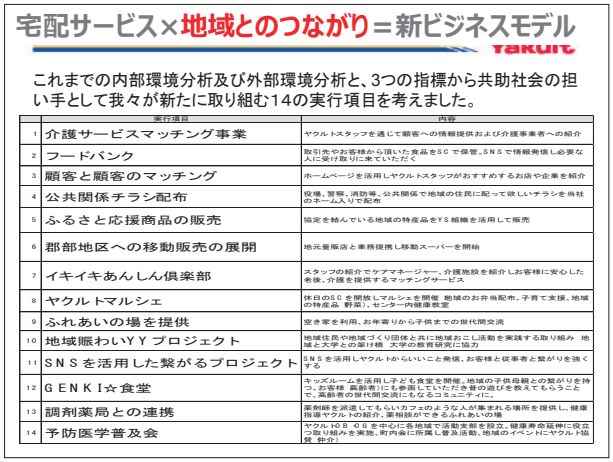
外部環境分析から可能性を探る



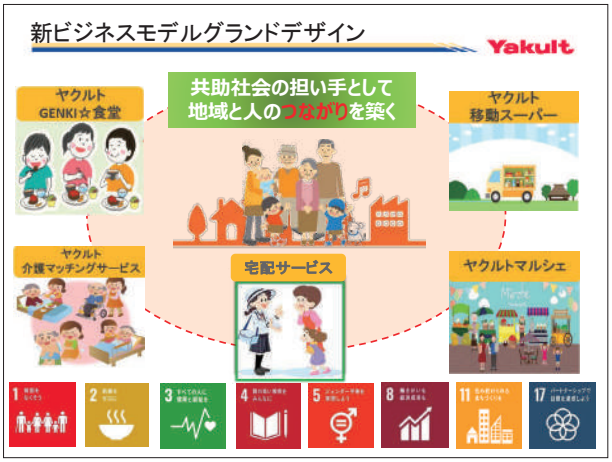


宅配サービス×地域とのつながり＝新ビジネスモデル

これまでの内部環境分析及び外部環境分析と、3つの指標から共助社会の担い手として我々が新たに取り組む新ビジネスモデルのグランドデザインを考えました。



「宅配サービス」とこれらの「地域とのつながりサービス」を掛け合わせたものを新ビジネスモデルといたしました！



ヤクルトスタッフによる宅配サービスとお客さまとの繋がりを基盤に、群馬ヤクルトは共助社会の担い手として地域の方との繋がりを築きます。

次年度に向けて…

『地域とつながるサービス』

→価値普及マーケティング開発部が主幹となり部門横断チームで実行

『エリア価値普及の最大化』

→宅配サービス部としてMYSの推進

→宅配・直販を中心とした【エリアマーケティングプロジェクト】を提案いたします。

群馬ヤクルトは共助社会の担い手として宅配（YS）ネットワークを基盤に地域社会の課題を解決する複合的な事業・サービスを展開し「新たな価値を創造」します。そして地域の方との繋がりを築き、幸福度向上に貢献します。

業務の仕組化プロジェクト

プロジェクトメンバー

狩野　麻紀	財務部(リーダー)	取締役部長
今井　裕俊	財務部(サブリーダー)	課長
広兼　昌隆	宅配サービス部(アドバイザー)	取締役部長
大塚　智義	基盤開発部	部長
金井　良和	宅配サービス部	次長
林　　和宏	価値普及マーケティング開発部	課長
齋藤洋一郎	直販サービス部	係長
河島　清香	価値普及マーケティング開発部	係長
湯浅　　瞳	化粧品サービス部	主任
足助　寛人	直販サービス部	社員

活動テーマ

- 各部門・各業務の理想の(生産性が高い、創造的な)行動特性を明らかにする
- 業務の仕組み化へ(→評価制度への提言)

昨年度のプロジェクトでは、ハイパフォーマーへのヒアリングからコンピテンシーを探りましたが、今年度のプロジェクトでは、私たちが大切にしている「5つの価値観」から理想形のコンピテンシーを探り、昨年度作成された「実在型モデル」と掛け合わせ、具体的行動まで入れたハイブリッド型の群馬ヤクルト独自のコンピテンシーモデルを作成しました。

コンピテンシーとは

「コンピテンシー（competency）」とは高い業績を上げる人材の行動特性のことで、ハーバード大学のマクレランド教授が、1970年代に提唱した人事管理の概念です。業務で高い成果を出す人には、学歴や知能、年齢と関係なく、その行動に共通した傾向があると分かっています。コンピテンシーは、この共通した傾向を、行動観察やインタビュー、アセスメントテスト(客観的な評価)などを用いて調査・分析し、行動特性としてまとめたものです。

コンピテンシーの分類

1 コアコンピテンシー

「所属するすべての人材に必要なコンピテンシー」
組織の全社員を対象

2 ファンクショナルコンピテンシー

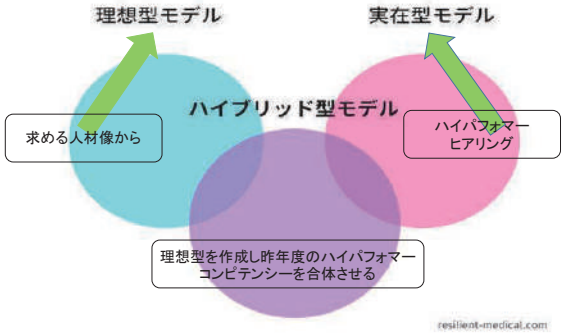
「職種や職位によって異なるコンピテンシー」

コンピテンシーには、全従事者共通の「コアコンピテンシー」と職種別の「ファンクショナルコンピテンシー」がありますが、マイスター制度に繋がるコンピテンシーモデルには両方が必要となります。今年度のプロジェクトでは、群馬ヤクルト独自のコンピテンシーモデルを作成しました。マイスター選定とそれに伴うファンクショナルコンピテンシーについては次年度のプロジェクトに期待します。

コンピテンシー作成手順

2019（実在型）	2020（理想型）
ハイパフォーマーとは？必要な要素を洗い出し	**5つの価値観**へのキーワードを洗い出し絞り込む
要素を絞り込み項目ごとにハイパフォーマーへ聞き取り	キーワードの思いを考える
行動を確認し、その思いを明らかにする	キーワードに対してどんな行動をしているか考える

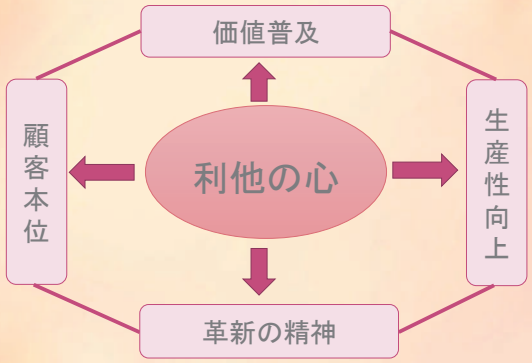
コンピテンシーモデルのタイプ



5. 具体的行動を5つに絞り、キーワードをコンピテンシーの補足に位置付けて完成

価値観	コンピテンシー	キーワード	具体的行動5個
	コンピテンシー	キーワード	具体的行動5個
	コンピテンシー	キーワード	具体的行動5個
	コンピテンシー	キーワード	具体的行動5個
	コンピテンシー	キーワード	具体的行動5個

5つの価値観関係図



〈群馬ヤクルト コンピテンシーモデル〉

利 他 の 心

顧客本位

価値普及

生産性向上

革新の精神

利他の心　一部抜粋

コンピテンシー: 寄り添いたい		
キーワード		具体的行動
他者理解	1	相手との会話の接点を見つけながら、能動的に話しかけて情報を得ようとしている
	2	相手の価値観や考えを否定しない
	3	普段から笑顔で接し、相手に安心感を与えている
	4	感情に左右されず落ち着いて話している
	5	相手の気持ちを察しアドバイスや、手助けしている
	6	普段から相手をよく観察し、変化を察知している

マイスターイメージ

Project & Circle activity

エンゲージメント向上プロジェクト

プロジェクトメンバー

竹垣　咲紀	人材開発部(リーダー)	次長
伊与久裕之	総務部(サブリーダー)	課長
青木　秀樹	直販サービス部(アドバイザー)	取締役部長
佐川　哲一	価値普及マーケティング開発部	次長
坂木　一也	基盤開発部	次長
町田　朝美	宅配サービス部	課長
天田　美和	化粧品サービス部	課長
原田　　栞	宅配サービス部	主任
黒神　淳史	宅配サービス部	主任
原　　貴博	直販サービス部	次長
田口　友堂	直販サービス部	社員
黒岩　真澄	人材開発部	研修員

活動テーマ

「エンゲージメント」とは「組織への自主的な貢献意欲」を意味し、“愛着”や“思い入れ”と表現されることもあります。今年度は2期目ということで、昨年度に引き続きエンゲージメント調査システム「wevox」のスコア分析をしながらエンゲージメント向上に向けた具体的な取り組みの企画・実施と、「ボイスの時間」の運用促進活動を行いました。

エンゲージメントスコア分析と具体策の企画

wevoxのエンゲージメントスコア分析では、管理職層と若年層の格差に注目しました。プロジェクトでは、このギャップを埋めるためには何が出来るのかを検討しました。

【重要と捉えたエンゲージメント項目】
「上司との関係」「事業・サービスへの誇り」「やりがい」「達成感」「成長機会」

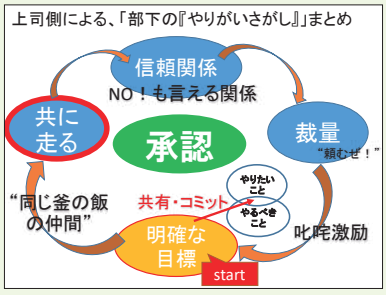
↓

中でも若手社員の「やりがい」にクローズアップ

↓

課題解決に向けた提案「承認」をベースにした部下の「やりがいさがし」

若手社員や部下が「やりがい」を見出すためには、上司の関わり方が大切で、中でも「承認」が部下のやりがい向上のベースになると考えました。そこで、具体的に上司側はどのような行動や関わり方が大切なのか、『部下の「やりがいさがし」』として図にまとめました。そして、上司・若手の分科会に分かれ、上司チームはこのサイクルの理解促進を活動の軸としました。また若手チームは、自身でやりがいを見つけるためにはどのような考え方が必要なのか話し合いました。



上司チームpresents「ボイスの時間」実施者フォロー研修

対象者　「ボイスの時間」を上司として実施している社員 **37**名

実施日　2月16日～17日（うち、1日間に参加）

時間　10:00～16:00

AMテーマ：部下育成の振り返り

タイトル『築こう！「信頼」　引き出せ！「やりがい」』

PMテーマ：実践スキルの修得

タイトル『高い傾聴力を身に着けよう！』

若手チームpresents ワークショップ

対象者　20代の総合職社員 合計**24**名参加

実施日　1月～2月中　各回1時間　合計4回開催

①パネルディスカッション『プロジェクトメンバーから後輩社員へ』

プロジェクトメンバー自身の経験談を後輩社員に伝え、その後、質疑応答を行いました。

②座談会『部門・世代の垣根を越えてのフリートーク』

仲間同士で発見・刺激を得る場を設け、業務を通して感じている事について自由に意見を交わし合いました。

「ボイスの時間」定着に向けた活動

KUNAI掲示板より情報発信

＜発信内容例＞

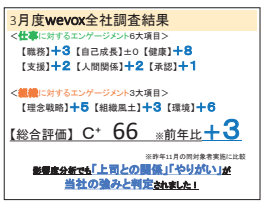
●話して良かったテーマの共有 ●時間管理、スケジュール調整のアイデア ●上司側の注意点 ●部下への関心の大切さ 等々…

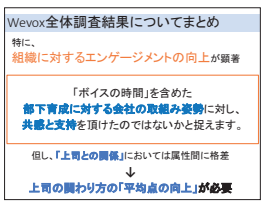
「ボイス川柳」の発信

「お互いに　楽しかったが　合言葉」　「傾聴は　強いチームの　接着剤」

「ありがとう　言える上司に　惚れる部下」　「今度こそ　部下の心に　ズームイン」

総括





※最終報告資料より

今年度のプロジェクト活動を通して我々は、改めて当社には人を大切にする価値観が強く根付いていることを認識しました。今後は更に価値観を行動に起こし、「利他の心」で仲間を大切にする風土を育んでいきましょう。

管理栄養士サークル

サークルメンバー

河島　清香	価値普及マーケティング開発部(リーダー)	係長
森川　聡美	化粧品サービス部	主任
中島　結香	価値普及マーケティング開発部	主任
反町　麻美	広報部	主任
松本香菜恵	宅配サービス部	主任
髙橋　万純	価値普及マーケティング開発部	主任
須藤　未来	宅配サービス部	社員
椎名江里加	宅配サービス部	社員
原島　　望	宅配サービス部	社員

活動目標

ヤクルトとお客さまを“健康”でつなげる存在になる

1
自分たちの自信に繋がる
専門知識の蓄積

2
全従事者の健康意識・
知識の向上をはかる

3
お客さまの健康に
つながる存在になる

活動報告

週めくりカレンダー

時期に合わせた健康情報や栄養素、旬の食材などについて盛り込んだ週めくりカレンダーを作成しています。今年度は社内だけではなく、お客さま向けに活用していただく機会も多くなりました。これからも多くのお客さまにお役立ちできる情報を提供していきます。

お客さまへの健康情報としての活用

健康経営導入企業での活用

自動販売機での活用

健康ロード

社内アンケートの結果「運動不足」を気にしている方が多く見られたので、まず日頃の歩き方を見直し、運動量を増やしてもらうために、健康ロード作成しました。理想の歩幅間隔で床にシールを貼り、運動量を増やして歩けるようになっています。

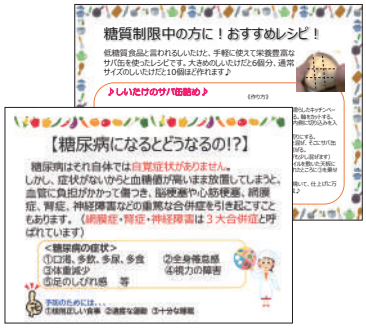
健康お助けファイル

「センターマネージャーやヤクルトスタッフが商品知識だけでなく、幅広い健康知識をお客さまにお伝えできるようになる」を目的に、健康お助けファイルを作成しました。健康お助けファイルは、お客さまのよくある質問に対して管理栄養士目線で回答し、いつでも確認できるようにサービスセンターに置いておける回答集です。

現在までに、便秘下痢・糖尿病を取り扱いました。特に糖尿病はご好評いただき、宅配サービス部の9万軒のお客さまにチラシとして配布いたしました。今後もテーマを増やしていく予定です！

〈基本項目〉

1 基礎知識
2 予防（食べ方・生活習慣など）
3 Q&A
4 レシピ



糖尿病について

お客さまへの健康情報チラシ

従事者向け健康セミナー

内勤従事者向けに、寒い時期こそ免疫力を高く保つために、年末に「免疫力を高める食事」をテーマに健康セミナーを実施しました。

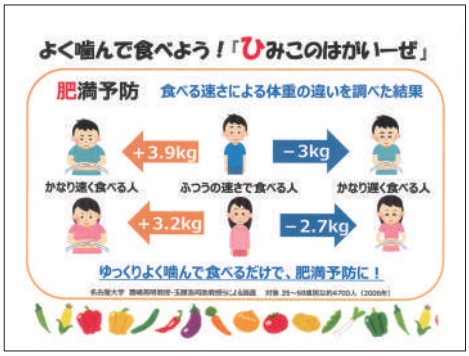
今回もセミナーに合わせて、免疫力を高めるビタミンのビタミンA・C・Eに注目した、『下仁田ねぎの肉団子スープ』を提供しました。

下仁田ねぎの肉団子スープ

栄POP

食事の時こそ食への意識が高まると考え、本店食堂のテーブルに「栄POP」を設置しました。

初回の内容は、食事中によく噛むことのメリットを伝えるために、よく噛むための合言葉「ひみこのはがいーぜ」を取り上げています。



Challenge Award 2020

2020年度　チャレンジ賞

夢や志を実現することが可能であると信じられるような、柔軟で活力ある組織を築くために、“輝いている”社員を四半期ごとに表彰する制度です。挑戦した人、会社・地域に貢献した人、業務提案をした人、たくさん努力した人、その他顕著な行動等がノミネートされ、審査のうえ受賞が決定します。表彰は四半期ごとの社員総会にて行われます。

第21回 受賞者

小川泉（宅配サービス部）

手作りの横断幕

新型コロナウイルスの影響の中で、視覚に訴える普及の一つとして、道路からセンターを見た時にお客さまや地域の方々への応援メッセージの意味も込め、手作りの横断幕を掲げました。高崎南SCは交差点付近という事もあり、車で通る方や地域の方々の目にとまりやすく、小川主任が“今”出来る事と考え、メンバー全員の協力で行った取り組みです。「乳酸菌 シロタ株」で健康維持にお役立ちし、この状況をみんなで乗り越えたいという想いを発信した小川主任にチャレンジ賞を！

松本香菜恵（宅配サービス部）

安心・安全のお役立ちタグ

商品の日付管理の一貫として、賞味期限の近いものにタグを付けYSの意識をあげる事や忙しい職域などでも一目見て分かりやすい工夫を上並榎SCで考え取り組んでいます。タグにはお客さまから見てもいいように、うがい手洗いや価値普及内容になっていてお役立ちに繋がる見える化も合わせているものです。YSの見誤りなどを防ぎ、商品への安心、安全への工夫がされている松本主任の取り組みにチャレンジ賞を！

林裕子（総務部）

手作りのマスク

今年に入り「新型コロナウイルス」の流行・脅威が始まり、群馬県でも4月に緊急事態宣言が発令され、さらなる緊張と不安の日々を過ごしました。現場のスタッフや社員、お客さまの動揺が続く中、ガイドラインを共有し、当然ながら現場のスタッフ・社員を優先にマスクを確保しました。しかし、内勤の社員にはマスクの供給が出来ず、間に合わせるため工夫しておりました。そんな中、いち早く林係長が裁縫の腕を振るって「手作りのマスク」を作ってお手本を示してくれました。あの環境の中、一人一人が出来ることのひとつとして挑戦され活用している取り組みにチャレンジ賞を！

第22回 受賞者

田村美由希（宅配サービス部）

手作りの夏用マスク

新型コロナウイルスの流行・脅威が続く中、国からの補助金支給を活用し、新しいミシンを購入しました。梅雨明けとともに「夏用マスク」の需要が高まっていたところ、田村主任は夏用の生地を購入し、ミシンを使って夏用マスクを作り、全員に差し上げました。最近では、おしゃれなマスクが店頭で販売されてきましたが、田村主任は楽しみながら、さらにチャレンジしてとても素敵なマスクを作り、周りの仲間に差し上げています。経費と手間ひまかけて、世界に一つしかないマスクへの挑戦、この時期に相応しい挑戦に対してチャレンジ賞を！

渡邉光（宅配サービス部）

予防を訴えるヤクルトマンマスク

コロナ禍で、お届け時の距離制限や時間短縮など、これまでの価値普及の環境が制限される中で、秋季の家庭内モニター施策を始めるにあたり、事前準備でお客さまにどうしたら「ヤクルト＝予防」を更に理解していただけるか考えました。予防の象徴であるマスクにヤクルトマンシールを貼る事により、視覚に訴えお客さまとの話題作りから、「マスク＝予防＝ヤクルト」に繋げるという想いで、事前週には5チーム全体で実施しましたが、スタッフやお客さまにも大変好評で沢山の反響を頂きました。新たなアイディアでチームを巻き込み価値普及を行った渡邉係長にチャレンジ賞を！

内川菜摘（宅配サービス部）

お客さまや仲間の為の手作り資材

内川社員は常にお客さまや仲間の事を考え、活動にあわせた手作りチラシや活動を前向きにするSC内掲示資材を自ら考え作成し価値普及に努めています。チラシを見て感銘を受けたというお客さまや、中には手作りチラシを楽しみに待っていて下さるお客さまもいらっしゃいます。当初は高崎中央SCの職域専門スタッフで活用し取り組んでいましたが、作成を重ねるうちに資材の質も高まり続け、今では高崎中央SCだけでなく、YS課3チームの全SCで共有し活用され、春のヤクミル施策では宅配全体にまで広がりました。スタッフのモチベーションアップにも繋がる活動にチャレンジ賞を！

澁川浩子（宅配サービス部）

手作りのありがとうメッセージ

新型コロナウイルスの影響で中止になった本年のサービスセンター・個人表彰式典ですが、代替表彰式の様子をまとめたDVDを各SCで鑑賞した当日、澁川主任はスタッフの皆さまの1年間の頑張りや、日頃の活動への感謝を込めて、一人一人に手間ひまかけた手作りの「ありがとうメッセージ」をお渡ししました。スタッフの皆さまもサプライズメッセージを喜んでいただき、SCや自宅に飾ってくれた方もおりました。結果だけでなく、活動のプロセスに着目し、スタッフさんに対する感謝や想いが通じる澁川主任の行動にチャレンジ賞を！

伊与久裕之・横澤智行（総務部）

コロナ禍での社内消毒

新型コロナウイルス感染拡大防止策の一つとして、社内の消毒作業が挙げられますが、日々の業務に追われ、また当番の掃除以外で、毎日社内の広範囲の消毒作業は、わかっていてもなかなかできないものです。彼らは、自ら率先して行動し、毎日、広範囲の消毒作業を行っています。一緒に働く従事者を守るため、ひいてはお客さまのためと黙々と取り組む彼らにチャレンジ賞を！

第23回 受賞者

第23回は該当者なしでした

第24回 受賞者

原島望（宅配サービス部）

プチ健康教室の実施

管理栄養士サークルで学んだ知識を活かし、3月3日、平成大橋SCのミーティングでプチ健康教室を実施しました。内容は、次週お客さまへ紹介する価値普及チラシと連動しており、スタッフからもお客さまから質問されたらこの内容を答えればいいと、大好評。仲間のために、楽しく学び伝える努力をし、初めてプチ健康教室に挑戦した原島社員にチャレンジ賞を！

森温子（宅配サービス部）

モチベーションを高めるポップとすごろく

お客さまの目にとまるよう、毎月、おススメの商品や伝えたい言葉を手描きのポップにし、メンバーはそれを名札ケースに入れて活動しているそうです。今回のモニターは人生ゲーム調のすごろくになっていて、モニター数に応じて進み止まったところをめくると「お菓子ゲット」のような楽しさがあふれていました。新人マネージャーですがみんなで楽しく頑張りたいという思いや行動にチャレンジ賞を！

井上明子（太田宝泉SC）**町田朝美**（大胡SC）

金谷千亜紀（境SC）**角田智博**（リーダー）

渡邉光（玉村SC）**清水香織**（笠懸SC）

御供文枝（藤岡SC）

３つのプロジェクトに挑戦

５チーム内プロジェクトとして、通常業務を行いながら、角田課長が中心となりCM6名がCM業務の課題を抽出し、3プロジェクトに分かれ、」考え検証し、効率化や精度向上を図り課題解決に挑戦しました。今後は部内で共有し、宅配サービス部全体で運用できる仕組み化を目指します。今回、その挑戦と行動をにチャレンジ賞を！

大河原慶貴（直販サービス部）

日商簿記３級合格

昨年10月から通信教育にて簿記取得に向けた勉強を続け、12月に見事3級に合格。コロナ禍で外出もできず、時間があったとはいえ、仕事終わりの時間の中から隙間の時間を見つけコツコツと積み重ねた結果が合格に繋がったものに違いありません。様々な事に興味を持ち、自己啓発に励み、挑戦する精神に敬意を表し、大河原主任にチャレンジ賞を！

河島清香（価値普及マーケティング開発部）

メタボ脱出90日チャレンジの実践

注目されている「健康経営」を足元から実現させるため、健康的な生活習慣を身につけるプログラム「メタボ脱出90日チャレンジ」を開発し、所属する課のメンバー5人を対象にスタート。チーム目標をはるかに凌ぐ成果を達成し、現在は2期生を実施中。社内における健康の輪を広げることにとどまらず、他企業への提案プランとしても活用できるメソッドを開発・実践した河島係長にチャレンジ賞を！

黒岩真澄（人材開発部/長期研修員）

お届け業務と価値普及活動の実践

2020年度長期社会体験研修員として1年間当社に在籍し、大きな貢献を残してくださいました。中でも、9月から11月にかけて、実際にヤクルトスタッフの制服を着てお届け業務にチャレンジしました。さらに、先生の地元でもある中之条・長野原地区では価値普及活動を行いました。また、プロジェクトチームに参加した際には現役の教師として、相手に寄り添うコミュニケーションの大切さを私たちに教えていただきました。1年間のチャレンジの素晴らしさとともに多くのことを学ばせていただいたことへの感謝と敬意を込め、黒岩先生にチャレンジ賞を！

最高のチームで賞

小川泉主任＋高崎南SC全スタッフ（宅配サービス部）

宮田ヒデさんありがとうの会

2020年12月、47年間ヤクルトスタッフのお仕事をされた宮田ヒデさんが引退することになり「宮田ヒデさんありがとうの会」をセンター全員で開催しました。小川主任を中心に、入念な準備をし、当日はセンター一丸となって宮田さんの功績を称え、言葉に尽くせぬほどの感謝が会の最初から最後まであふれるという最高の場となりました。先輩へ敬意と感謝を「ありがとうの会」という形にして実行した小川主任、高崎南の全スタッフに最高のチームで賞を！

取り組み紹介 7

Special Feature

エフエム群馬 スマイルレポート

ヤクルトスタッフが思わず笑顔になった地域の素敵な情報を発信しています。
毎週火曜日の朝9時32分から5分間放送中です。

エフエム群馬「スマイルレポート」2020年度出演者紹介

和田山和加（群馬町）

上松佐和子（安中）

井口佳奈（玉村）

奥木典子（前橋中央）

柄沢香織（高崎西）

蛭原優子（問屋町）

関口啓栄（高崎中央）

大駒千恵子（境）

鈴木千穂（みなかみ）

品田容子（前橋東）

伊藤絹江（渋川）

増野薫（高崎東）

渡邉千春（藤岡南）

平塚千春（前橋東）

小寺若菜（沼田）

池島桃子（藤岡）

森玉江（高崎南）

黒沢敦子（太田宝泉）

萩原真貴子（駒形）

山田夏子（富士見）

山本昌恵（吉井）

篠田幸代（大胡）

関口鋭子（上並榎）

竹田悠（高崎問屋町駅前）

田島君子（前橋北）

加部友美（中之条）

金井裕子（群馬町）

田村智佳（安中）

秋丸真弓（玉村）

下田千恵子（前橋中央）

瀧上茜（高崎中央）

飯野広美（高崎西）

山崎美千子（問屋町）

磯恵（境）

山形利枝（平成大橋）

根岸満子（みなかみ）

小林夏江（渋川）

今井亜希（高崎東）

新井かつ代（藤岡南）

降簇聡子（前橋東）

佐藤典子（沼田）

吉井美帆（高崎南）

金子陽子（藤岡）

宮川多恵子（太田宝泉）

渡部利恵（駒形）

萩原貴子（富士見）

田村江未（吉井）

本田春奈（大胡）

平良正子（前橋北）

吉田恵（高崎問屋町駅前）

Freshers

2020年度　新入社員紹介

―今年の目標を教えてください！―

取り組み紹介
8

Special Feature

スポーツ社員の活動
～パレイストラ・レディース～

ソフトテニス

平成大橋 SC
原野亜衣
（競技歴：20 年）

いつもご支援していただきありがとうございます。今年度は新型コロナウイルスで大会開催が難しい状況でした。皆さまのおかげでソフトテニスができることに感謝し今後も精進して参ります。

2020年度 試合結果（全4試合）

1群馬県年齢別ソフトテニス大会/優勝
2佐藤次郎杯争奪ソフトテニス大会/優勝
3群馬県ソフトテニスミックス大会/優勝
4群馬県秋季ソフトテニス大会/優勝

女子サッカー

高崎中央 SC
髙橋花央子
（競技歴：14 年）

昨年はコロナ渦により、思うように活動を行うことができませんでしたが、その中で改めてサッカーができるありがたみを感じることができました。これからも現在の環境に甘えることなく、チャレンジしていきたいと思います。

平成大橋 SC
原島望
（競技歴：14 年）

働きながらサッカーができる素晴らしい環境に感謝し全力で頑張ります！いつも応援ありがとうございます。

高崎中央 SC
内川菜摘
（競技歴：16 年）

仕事とサッカーの両立ができるこの環境にとても感謝しています。これからもチーム一丸となって日々の練習に励み、更に上を目指せるよう精進してまいります！

前橋中央 SC
保渡山菊恵
（競技歴：8 年）

コロナ禍で思うように出来なかったサッカーでしたが、今のできる環境を大切にし、去年より飛躍できるようサッカーに、お届けに、頑張りたいです。応援よろしくお願いします。

2020年度 試合結果

1ザスパクサツL15/2-5 負け 2市立太田高校/3-2 勝ち 3ヴァリエンテス/2-4 負け 4太田女子高校/5-0 勝ち

部門紹介

1 宅配サービス部

宅配サービス部は社員とヤクルトスタッフの総勢690名が、ヤクルト商品の普及を通じて、お客さまの「健康と美」に貢献します。またお客さま一人一人の「つながり」を大切にし、健康社会の実現に向け明るく元気に活動しています。

MISSION - 部門使命 -

ヤクルトの価値（商品・人・サービス）の普及を通じて、
一人でも多くの方に「健康と美」をお届けする。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 価値普及 マーケティングの展開
●お客さま・地域社会

2 ビジネスモデル 再構築
●あるべき姿

3 モチベーション マネジメントの展開
●従事者

◆新型コロナウイルス対策（新たなお届け方法）

お客さまと従事者の安全確保に取り組んでいます

1 マスク着用

2 距離1m以上

3 15分以内のお届け

4 手指の消毒

5 キャッシュレス決済対応

6 保冷箱へのお届け

ストップコロナ!対策認定を取得

群馬県が行っている「ストップコロナ!対策認定」を取得し、全てのサービスセンターがストップコロナ!対策認定店として、ポスターを掲示しています。

お届け前の体調確認、検温の徹底

平成大橋サービスセンター
関口　菜摘

コロナ禍でのお届けでは、手指消毒、お客さまとの距離、お届け時間の短縮などはもちろん、行動自粛やコロナウイルスに対する不安でストレスを感じている方が多かったため、毎回の体調確認を行っていました。また、限られた時間の中で、どのお客さまでも最低1回は笑顔を引き出すことを意識してお届けをしていました。

◆Yakult1000 発売1周年企画の実施

Yakult1000がおかげさまで1周年を迎えることが出来ました。一昨年の10月に発売されたYakult1000はストレス緩和と睡眠の質向上に効果が期待できる機能性食品です。生きて腸内まで到達する「乳酸菌 シロタ株」が1本(100ml)の中に1000億個以上入った、乳製品乳酸菌飲料です。ヤクルト史上最高菌数・最高密度のYakult1000でお客さまの健康に役立ちます。

目的

Yakult1000発売1周年を記念し、お客さまへ感謝を伝え、改めて「乳酸菌 シロタ株」の新しい機能性(ストレス緩和・睡眠の質の向上)を普及し、新たなお客さまの健康に役立つ

活動期間

2020年11月～2021年1月

活動内容

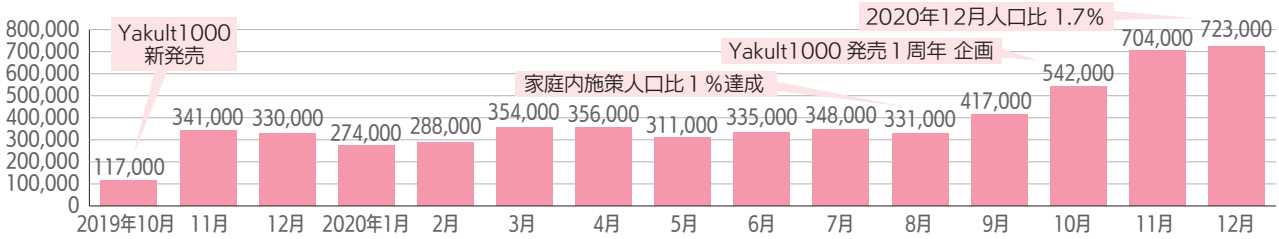
お客さま向け

❶100円引きクーポン
❷ダブルチャンス副賞抽選
❸マスクケースの進呈
❹Yakult1000メインの新規活動
❺お客さま紹介キャンペーン

従事者向け

❶従事者飲用体感
❷体感談の毎日共有
❸Yakult1000復習研修
❹価値普及チラシコンテスト
❺特別本数奨励(10～1月)

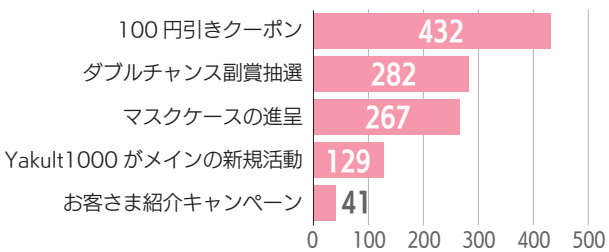
Yakult1000本数推移



Yakult1000発売1周年企画　YSアンケート結果(2021年1月実施)

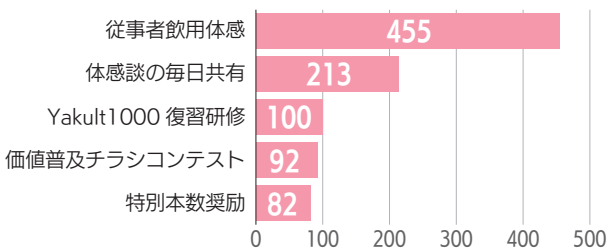
Q 商品への自信や意識の向上に繋がった施策、お客さまに紹介しやすかった施策を教えてください。(複数回答可)

◆お客さま向け



Q 商品への自信や意識の向上に繋がった施策、お客さまに紹介しやすかった施策を教えてください。(複数回答可)

◆従事者向け



◆ヤクルトスタッフの冬制服がモデルチェンジ

2020年10月、ヤクルトスタッフの冬制服が15年ぶりにモデルチェンジしました。デザインコンセプトは「毎日会いたくなるような、親しみの持てる元気で明るいヤクルトスタッフ」がテーマ。「清潔感」「さわやかさ」「明るさ」を感じさせるデザインです。

機能性については素材を改良し…

1
ジャケット、スラックス共に重量を20％軽減し、ストレッチ性を2～4倍に向上

2
ジャケットには体から出る遠赤外線を熱に変換する「蓄熱保温裏地」を採用

3
室内外の行き来で生じる発汗と冷えの対策として、ブラウスに吸汗速乾機能や消臭テープを付加しました。

◆全社員によるクロスアタック採用活動

2020年度、全社員によるクロスアタック採用活動を年間3回実施しました。

このクロスアタック採用活動は宅配サービス部の社員だけでなく、他部門の社員も一緒に全社員で採用活動を行います。全社員で活動することで集中的に見込み者を確保すること、そしてヤクルトの根幹であるYS組織を守るという社員の意識の向上に繋がっています。宅配サービス部の社員も他部門の社員の方々が忙しい中、応援に来てくれたことは大きな励みとなり、モチベーションも上がりました。

また、ヤクルト本社発行の「キャッチアップ新聞」に群馬ヤクルトの採用活動が掲載されました。皆で協力して活動できたことは群馬ヤクルトのスローガンである「最高のチームをつくる」ことにつながる大きな成果となりました。

2020年度 延べ活動社員
284名

リーダーを中心にクロスアタック活動

キャッチアップ新聞（ヤクルト本社発行）

◆Let's TTP「繋げる 伝える 熱意をもって(パッション)」

目的

❶活動事例を共有することで、会社全体のお客さま対応の向上を図り生産性の向上に繋げる。

❷体感・エピソードを共有することで、仕事への意欲を引き出しモチベーション維持に繋げる。

❸センターを超えたコミュニケーションを活性化することで、エンゲージメント向上に繋げる。

内容

- センターでの事例を本店で集め、本人への聞きとりを行い文書化する。
- 毎週水曜日の午前10時にKUNAIの掲示板にて配信する。その後はいつでも閲覧できるようKintoneにてデータを保管する。
- 初回配信は2020年6月17日。2021年3月末日まで40回配信済

事例

～言葉を越えたコミュニケーション～

耳の不自由なお客さまとお話がしたい！と思い、手話教室に通い始めて3年。日常会話くらいはできるようになった頃、そのお客さまは高齢で施設に入ってしまいました。そんな中、ポスティング活動時に、自分の分を終え、同じグループの大塚YSのお手伝いをしていると、耳の不自由な方にお会いしました。耳の不自由な方は、少しでも手話がわかる事を嬉しく感じてくださるので、手話を使ってお話ができた事にとても充実感を覚えました。その後ヤクルトもお飲みいただけることになり、大塚YSとお客さまを繋ぐことができ、さらに嬉しい気持ちになりました。これからも一人一人のお客さまに寄り添った活動をしていきたいです。

高崎西サービスセンター
狩野　真寿美(経験年数12年)

これからもお客さま、センターの仲間の為に出来る事をしていきたいと思います。

◆去年の自分を超えよう!103%企画

目的

自分の成長を意識しながら活動し、昨年以上にお客さまからの支持を得たスタッフとセンターをたたえる。

内容

ヤクルト400類、Yakult1000個人前年対比103%を目標とし、それに向けた活動の結果、目標達成をされた方について、センター全体でたたえる。

期間

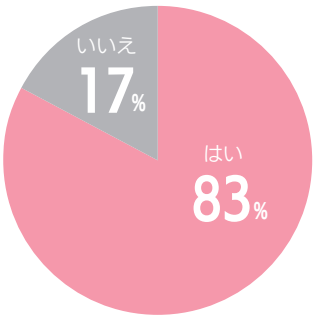
2020年6月から2021年3月(毎月1カ月単位で表彰)

結果

6月 169名	7月 86名	8月 141名
9月 58名	10月 405名	11月 332名
12月 205名	1月 449名	2月 249名

YSアンケート結果より

Q ヤクルト400・Yakult1000の前年本数を意識してお届け出来ましたか?



◆価値普及推進課

価値普及推進課では、一人でも多くのお客さまにヤクルト商品を飲用・体感していただき、健康で健やかに生活していただけるための、様々な企画を考えています。また、目まぐるしく変化する社会情勢の中、私たち宅配サービスで解決できることを、模索しながら様々なことにチャレンジしています。1人でも多くの方に「健康と美」をお届けできるように今後も活動していきます。

次長　柳川育廣

MYS（ミッショナリーヤクルトスタッフ）活動

EYS活動が導入されてから17年。群馬ヤクルトの宅配ビジネスモデルとして実績を伸ばしてきました。しかし、人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化により宅配ビジネスモデルが衰退化し始めています。そこで昨年度からMYS活動として吉岡サービスセンターを皮切りに活動をスタートし、2020年度は富岡サービスセンターで活動をスタートしました。MYS活動ではお届け地区の再設計や週休3日制の導入、そして全YSの化粧品の取り扱いを目標に、CS・ESの満足度向上を目指して活動しています。

MYS活動…MYS（ミッショナリーヤクルトスタッフ）とは代田稔先生が提唱した代田イズムの伝道師（ミッショナリー）という意味です。ヤクルトの普及を通じて地域の社会的問題を解決し、ヤクルトスタッフが地域にとって必要不可欠な存在（共助社会の担い手）になります。

❶お届けエリアの再設計

❶2035年の人口動態を見据えたエリアの再設計

❷週休3日制の導入

❶ライフワークバランス実現に向けた環境整備
❷ピッキングスタッフの導入

❸YSスキルアップ研修の実施

❶自分自身を知る　❷お客さまについて知る
❸お客さまのニーズを知る

❹全YS化粧品の取り扱い開始

❶化粧品マネージャーによる化粧品勉強会の実施
❷BCによるYS同行　❸乳製品・化粧品の併売の展開

◆組織強化メンバー

宅配サービス部の23名の社員により構成されています。各サービスセンターに所属し担当するエリアのお客さまへの価値普及と、新人スタッフの育成を主要業務に宅配サービス部の組織の強化を目的に活動しています。

＜主な業務＞

❶お客さまと信頼関係の構築と価値普及（既存顧客）
❷新規のお客さまへの価値普及（新規活動）
❸新人育成、お客さまの引き継ぎ
❹採用活動
❺センターマネージャーとの連携
❻新たな仕組みづくりに向けた検証活動

◆YS課

宅配サービス部YS課は33サービスセンターに約600名のヤクルトスタッフが所属し、地区を5地区（チーム）に編成し組織運営しています。

今年の宅配サービス部YS課では、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながらお客さまへのお届けを実施しました。世の中が不安の中、スタッフによるお客さまに寄り添った訪問や、日常のお届けによる安心感から、たくさんのお客さまから、感謝のお声を頂きました。地域に密着したスタッフの存在が、「地域のエッセンシャルワーカー」として更に評価を頂けました。これからも、地域の皆さまの健康を願い、いつもと変わらない日常を大切に、“笑顔と健康と美”をお届けしていきます。

次長　金井良和

◆チームリーダー

１チームリーダー
係長
齊藤　美樹

１チームは男性１名女性6名個性豊かなマネージャーが揃うアイディアマンのチームです。

マネージャーはスタッフさんに寄り添い、スタッフさんはお客さまに寄り添いチーム一丸となって赤城山に見守られながら北風に負けずに前橋市内を元気に活動しております！

２チームリーダー
係長
桑原　みえ子

２チームは6人のマネージャーがスタッフ1人1人に合わせて、個性を生かし輝けるために何をすべきか考え行動してきました。

マネージャー達の絆が非常に強く、常に相談し合い問題解決のために進んで協力し合える最高のチームです。

地域のお客さまの健康と美しさ、スタッフの笑顔を守るために、最強のチーム力で更に進んでいきます。

３チームリーダー
係長
山崎　絵美

頼りになる安田課長、安心感のある石塚係長、フットワークがいい加藤係長、アイディアあふれる小川主任、思いやりのある松本主任、まっすぐな保科マネージャー、監督と二刀流な藤前マネージャー、個性豊かな7人のマネージャー達と新しい生活様式の中で戸惑うこともありながら、共に乗り越えてきました。これからも変わらずに、お客さまとスタッフとの強いつながりを大事に進んでいきます。

４チームリーダー
課長
前野　明子

新型コロナウイルスの影響で生活スタイルが大きく変わりましたが、待っていてくれるお客さまや笑顔でお届けしているスタッフや社員達、センターを支えるマネージャー達と変わらない事も多くあり、その大切さを改めて実感する年でした。

これからも、マスクで口元は見えませんが笑顔を絶やさず、チーム全員で「強くてあたたかい『つながり』」を築いていきます。

５チームリーダー
課長
角田　智博

群馬の東を支える5チーム。ベテランマネージャー ３人、中堅マネージャーが３人の、個性あふれるチームです。５チームマネージャー陣は、日々、お客さま、スタッフさんの笑顔の為に、アップデートし、レベルアップに努めてます。

◆マスタートレーナー

マスタートレーナー
齊藤　みゆき

マスタートレーナーとして、今年度よりお仕事をさせて頂きました。初めての仕事で戸惑う事もありましたが、リーダーさんやマネージャーさんの、問題点や悩みを少しでも解決できるように、私の持っている経験を生かして支えていけたらと活動してきました。そしてこの1年の仕事の経験を元に、さらに皆さんのお仕事のサポートができるように活動して行きたいと思います。

SERVICE CENTER
01

前橋東SC

センターマネージャー
澁川　浩子

私のモットー！
MY MOTTO

仕事は楽しく♪価値を伝え笑顔でお届け♪みんな大好きなヤクルトさん♪

SERVICE CENTER
02

駒形SC

センターマネージャー
柿沼　禎明

私のモットー！
MY MOTTO

スタッフさんが笑顔で働ける環境づくりを心掛けています!!

SERVICE CENTER
03

前橋中央SC

センターマネージャー
生方　敦子

私のモットー！
MY MOTTO

目標に向かって自分の言葉でお客さまと会話をする自立したセンターを目指す!

SERVICE CENTER
04
問屋町 SC

センターマネージャー
茂木　めぐ美

私のモットー！ MY MOTTO
気持ちを大切に！皆さんに寄り添いサポートさせて頂きます！

SERVICE CENTER
05
前橋北 SC

センターマネージャー
蟹江　裕美子

私のモットー！ MY MOTTO
“心も身体も健康に”！笑顔あふれるセンターを目指します！

SERVICE CENTER
06
富士見 SC

センターマネージャー
田島　梨紗

私のモットー！ MY MOTTO
モットーは笑顔です。毎日ニコニコがあふれる環境にいられることに感謝です。

SERVICE CENTER
07

平成大橋SC

センターマネージャー
小林　ますみ

私のモットー！
MY MOTTO

明るく！楽しく！元気よく！目指すはいつでも健腸美肌。

SERVICE CENTER
08

沼田SC

センターマネージャー
田村　美由希

私のモットー！
MY MOTTO

元気100倍!!感謝の心を大切に笑顔と健康をお届けしています！

SERVICE CENTER
09

みなかみSC

センターマネージャー
金井　幸恵

私のモットー！
MY MOTTO

今日あった楽しい事を話せる仲間を大切にしています！

SERVICE CENTER 10

中之条 SC

センターマネージャー
本舘　聖子

私のモットー！ MY MOTTO
お客さま・センターのみんな・家族に感謝の気持ちを忘れない！

SERVICE CENTER 11

長野原 SC

センターマネージャー
桑原　みえ子

私のモットー！ MY MOTTO
お客さまの健康と、スタッフさんの笑顔の為なら何処へでも行きます！

SERVICE CENTER 12

渋川 SC

センターマネージャー
中島　由紀子

私のモットー！ MY MOTTO
いつでも冷静に、ポジティブな発言を心がけています！

SERVICE CENTER
13

渋川北SC

センターマネージャー
小菅　敦子

私のモットー！
MY MOTTO

明るく元気に楽しく日々感謝の気持ちでいっぱいです。

SERVICE CENTER
14

吉岡SC

センターマネージャー
町田　明美

私のモットー！
MY MOTTO

仕事は楽しく!! 成長の喜びと達成感を皆に味わって貰える様に頑張ります!!

SERVICE CENTER
15

群馬町SC

センターマネージャー
安田　まゆみ

私のモットー！
MY MOTTO

私は常に心の健康を一番大切に思いお客さまやスタッフに接しています。

SERVICE CENTER
16

高崎問屋町駅前SC

センターマネージャー
加藤　禎久

私のモットー！
MY MOTTO

ヤクルトならではのあたたかさをスタッフみんなでお届けします！

SERVICE CENTER
17

上並榎SC

センターマネージャー
松本　香菜恵

私のモットー！
MY MOTTO

毎日感謝！毎日明るくて優しい上並榎のメンバーが大好きです。

SERVICE CENTER
18

高崎西SC

センターマネージャー
石塚　真砂美

私のモットー！
MY MOTTO

みんなで考え、みんなで一緒に活動！笑顔のあふれるセンター!!

SERVICE CENTER
19

高崎東 SC

センターマネージャー
保科　瞳

私のモットー!
MY MOTTO

地域一番の元気をモットーに笑顔溢れるセンターを目指します!

SERVICE CENTER
20

高崎中央 SC

センターマネージャー
藤前　彩香

私のモットー!
MY MOTTO

何もない普通の日常が有難い!私のモットーは日々感謝です!

SERVICE CENTER
21

高崎南 SC

センターマネージャー
小川　泉

私のモットー!
MY MOTTO

「楽(らく)」ではないことほど「楽しむ」ために毎日笑顔で!!

SERVICE CENTER
22

藤岡南 SC

センターマネージャー
佐藤　貴恵子

私のモットー！
MY MOTTO

お客さまとスタッフの、心と体の、健康を守る。ヤクルトと共に!!

SERVICE CENTER
23

吉井 SC

センターマネージャー
田島　美香

私のモットー！
MY MOTTO

『気負わずコツコツ』を意識しています。なかなかできず日々勉強です。

SERVICE CENTER
24

富岡 SC

センターマネージャー
山岸　潤一

私のモットー！
MY MOTTO

YSの皆さんが安心して明るく働ける環境作りを心掛けています!

SERVICE CENTER
25

安中 SC

センターマネージャー
道辻　道代

私のモットー！ MY MOTTO
今年の一文字は「添」。スタッフ・お客さまに寄り添い充実した年にしたいです。

SERVICE CENTER
26

松井田 SC

センターマネージャー
武藤　美和

私のモットー！ MY MOTTO
称え合える励まし合えるセンターを心掛けています。ワンチーム！

SERVICE CENTER
27

下仁田 SC

センターマネージャー
森　温子

私のモットー！ MY MOTTO
センターのみんなが同じ方向を向き目標達成出来るようサポートします!!

SERVICE CENTER
28

太田宝泉 SC

センターマネージャー
井上　明子

私のモットー！
MY MOTTO

「仕事は楽しく元気よく」がモットーです。

SERVICE CENTER
29

境 SC

センターマネージャー
金谷　千亜紀

私のモットー！
MY MOTTO

仕事は楽しく!! をモットーに。すべての事に感謝 !!

SERVICE CENTER
30

笠懸 SC

センターマネージャー
清水　香織

私のモットー！
MY MOTTO

人の輪を大切にして、みんなが活躍できるセンターを作ることです。

SERVICE CENTER
31

大胡 SC

センターマネージャー
町田　朝美

私のモットー！
MY MOTTO

センターみんなの元気と笑顔が100%お客さまに伝わるようなサポートを心掛けています！

SERVICE CENTER
32

玉村 SC

センターマネージャー
渡邉　光

私のモットー！
MY MOTTO

仕事は楽しく！毎日を笑顔で！仲間想いの玉村SCの皆は私の誇りです。

SERVICE CENTER
33

藤岡 SC

センターマネージャー
御供　文枝

私のモットー！
MY MOTTO

お客さまに感謝の気持ちを忘れずに笑顔でお届けすることがモットーです！

◆2019年度 サービスセンター・個人表彰式典

全スタッフが集まって毎年、盛大に開催している「サービスセンター・個人表彰式典」は新型コロナウイルスの影響により今年は各サービスセンターで開催となりました。センター開催ということで、役員が全ての会場に出席しセンターを手作りの装飾などで華やかに演出して、例年とはまた違った雰囲気でセンターの仲間全員でお祝いするアットホームな温かさがありました。また今回は群馬ヤクルト創業65周年記念として、お土産でご家族で召し上がれるように豪華な「お重」をご用意。後日に各センターの表彰式の様子をまとめた動画を全サービスセンターで鑑賞しました。

※受賞SC・名簿は社内広報誌「Voice」6月号に掲載

当日のお土産

◆優秀新人ヤクルトスタッフ表彰式

例年、ヤクルト本社併設のヤクルトホールで開催されていた「優秀新人ヤクルトスタッフ表彰式」ですが、今期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自社開催となりました。群馬ヤクルトでは、2019年度下期受賞者を8月7日「木曽路高崎店」、2020年度上期受賞者を2月24日「ウエディングレストラン　ジュレ」にて食事会と併せて実施しました。当日は感染対策を万全に行いながらの実施となりましたが、役員や久しぶりに会えた仲間との会話も盛り上がり、新人時代の努力が称えられ、思い出に残る時間となりました。

受賞基準

1

ヤクルトブランド売上42万円以上／月間平均

2

乳製品本数180本以上／1日平均

いずれかの条件を達成した新人YS

受賞者数

2019年度下期受賞者　25名

2020年度上期受賞者　23名

◆2020ヤクルト東日本大会 in群馬

今年は新型コロナウイルスの影響により、東日本大会の開催が中止となりました。その代替えの大会として群馬ヤクルト独自による東日本大会を開催いたしました。感染予防の観点からに県内4会場に分けて小規模にて開催しました。当日は各表彰状の授与、コース料理を堪能しながら仲間同士で功績を称えました。今回は地元で開催することにより例年とまた違った和やかな温かい授賞式となりました。今年の受賞は個人表彰84名、優秀サービスセンター4サービスセンターが受賞いたしました。受賞おめでとうございます。

個人表彰受賞者数
84名

優秀サービスセンター
4サービスセンター

東日本大会 個人賞
84名

東日本大会 最優秀賞
14名

東日本大会 優秀賞
17名

東日本大会 努力賞
53名

東日本大会優秀サービスセンター

富士見SC・長野原SC・笠懸SC・藤岡SC

北毛会場（ロックハート城）

東毛会場（アイランドヒルズ迎賓館）

前橋会場（音羽倶楽部）

西毛会場（ジュレ高崎）

部門紹介

2 化粧品サービス部

化粧品サービス部は『群馬ヤクルトならではの内外美容を提唱し、健やかな美しさを提供する事でお客さまの幸せに貢献する』をモットーに活動しております。

MISSION - 部門使命 -

一人でも多くのお客さまの
健やかな美しさに貢献できるパートナーとなる!

POLICY - 基本方針と重点施策 -

エンゲージメントの向上　～互いに成長し貢献する組織づくり～

1 BC（ビューティー・クリエイター）推進

- あるべきBC像への業務の仕組み化
- 担当YSとの連携強化
- BC導入の新たな仕組みへの挑戦

2 チーム力強化

- チームオリジナルおしゃれスクール
- 新人YS研修化粧品教育の充実
- ONE ON ONEミーティング

TOPICS

◆ヤクルトの乳酸菌生まれの保湿成分を配合した基礎化粧品「ラクトデュウ」シリーズ

ラクトデュウS. E. クレンジング（オイル）・ラクトデュウS. E. ウォッシング登場!

ヤクルトの乳酸菌生まれの保湿成分であるS. E. （シロタエッセンス）を配合した、保湿効果の高い基礎化粧品シリーズである「ラクトデュウ」シリーズから、「ラクトデュウ S. E. クレンジング（オイル）」と「ラクトデュウ S. E. ウォッシング」の2品が新登場となり、ラクトデュウシリーズは4品となりました。

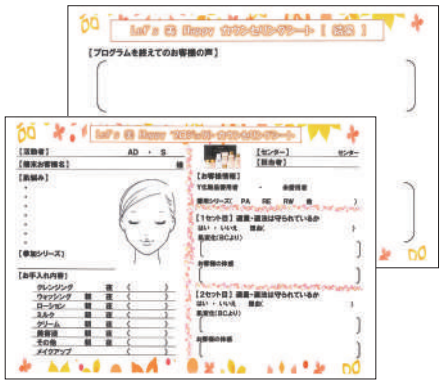
クレンジングオススメポイント

ウォッシングオススメポイント

◆協働活動「Let's 美 Happy」活動報告

BCと化粧品取り扱いスタッフがペアになり、お客さまに基礎化粧品の愛用を提案する活動を行いました。3シリーズ【パラビオ・リベシイ・リベシイホワイト】の中からお好きなお試しセット2箱を2週間体感して頂き、その後BCがカウンセリングシートを活用して、使用状況やお肌の状態を確認しました。

ご紹介チラシ



カウンセリングシート

TEAM 01 駒形サービスセンター

永島真由美 BC（写真右）

関根さんは、お客さまに対して真心を持って対応していることが活動を通して改めて分かりました。全軒にご紹介し、新規購入のお客さまもでき、ヤクルト化粧品の価値普及が出来ました。素直で勉強熱心な関根さんと活動ができ、本当に良かったです。

関根恵理（写真左）

「一週間後にきれいになったよ！とても良い企画だね！」とお客さまからお喜びの声を頂き、自信になりました。永島ＢＣは私の小さな疑問にも分かりやすく的確にアドバイスをしてくれる有難い存在です。一緒に活動出来たからこそ良い結果が出せたと思います。

TEAM 02 吉岡サービスセンター

上村由紀 BC（写真右）

石田さんが前向きで熱心にお客さまに紹介してくれた事がとても嬉しかったです。私自身、改めてお客さまを知ることができました。企画後は、今まで以上に化粧品活動の報告をしてくれて、自ら予習をし、どのようにお客さまに伝えようか一生懸命考えて活動してくれています。今後も寄り添い、サポートしていきます。

石田宏美（写真左）

「お客さまにきれいになってもらいたい」という想いで活動に取り組みました。上村ＢＣとの連携でお客さまも愛用品が増え、さらに上村ＢＣのフォロー訪問による使用確認などできちんと使っていただくことが出来ました。私自身も化粧品活動に以前より前向きに取り組めるようになりました。頼りになる上村ＢＣと一緒に活動できて良かったです。

TEAM
03 高崎西サービスセンター

桜井礼子 NBC（写真右）

ヤクルト化粧品の良さを知って頂く機会なので、柄沢さんとのお客さま情報の共有などをこまめに行いました。いつも明るく前向きな柄沢さんなので、最後まで2人で楽しく活動が出来ました。

柄沢香織（写真左）

ヤクルト化粧品の良さを体感して頂くには「大好きなパラビオを試して頂くのが一番！」という想いで活動しました。自分の自信のない所を、桜井BCにフォローをしてもらい、抜群のコンビネーションで本品の購入にも繋がりました。

TEAM
04 安中サービスセンター

井上佳子 BC（写真右）

この活動を通して、飯塚さんのエリアのお客さまとふれあいが出来て良かったです。飯塚さんの仕事に対する真面目さと熱意を感じ、ますます好きになりました。

飯塚百合香（写真左）

全軒のお客さまに商品を詳しくお伝えし、知ってもらうことができました。初めて使う方も多く、良さを体感してもらい、内外美容のお役立ちができたと思います。1番はお客さまの笑顔を見られた事が良かったです。

TEAM
05 笠懸サービスセンター

津田美枝 BC（写真左）

初めての企画だったので最初はどうしたらいいか、考えながらの活動でした。コロナ禍で単独で訪問することも多かったのですが、大澤さんとお客さまでコミュニケーションが取れていたので、私が訪問した際もすんなりと化粧品の話を聞き入れてくれたのでお伺いしやすく、活動もスムーズにできました。

大澤さおり（写真右）

あるお客さまは体感して1 週間後、玄関を開けたら顔がパッと明るく、くすみのないお肌になっていました。お客さまがとても嬉しそうにしているのを見て私自身も嬉しくなりました。津田BCのアドバイスを受けながらおすすめすることで購入にもつながった方もいました。今後もお客さまに寄り添いながら活動をしていきたいです。

化粧品活動週と従事者推奨商品案内

お客さまにヤクルト化粧品の価値をお伝えするため、毎月始めの1週間を化粧品活動週間としています。それとともに、従事者愛用を促進するため、従事者に対しても推奨商品をご紹介しています。

朝礼での事例・情報共有

従事者愛用推奨商品のご案内

従事者向け　Let's 美 happy

美肌教室～価値普及マーケティング開発部とのコラボ～

ららかんら 様（甘楽町）

季節に合わせたお肌の話とラクトデュウシリーズをご紹介いたしました。ラクトデュウウォッシングのフワフワな泡をお見せし、ローションやミルクは実際の手でシロタエッセンスの肌馴染みやしっとり感を体感していただきました！

前半 美肌講話

後半 体感コーナーで泡立ちの確認

高崎市協働事業～輝くウーマンライフ～

2017年に高崎市と締結した「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」に基づき、高崎市との協働事業として『輝くウーマンライフ～肌の輝きは健康から～』を3回開催いたしました。

高崎市の栄養士や保健師と連携し、内側からキレイになるための『おとな女子の美肌レッスン』を行い、自分で実践できる力と正しい知識を身につけていただきました。

太陽誘電（株）様

子育てなんでもセンター様

NBCステップアップ研修

“頼りにされるBC”になるための具体的な目標の立て方を学ぶ研修を行いました。グループワークを行いながら現状の課題を共有し、目的達成のために自分の言動を振り返り、仲間との良好な関係を築くにはどうしたらよいかなど話し合いました。研修を通してBCの役割を再確認することが出来ました。

「自分物語」ワーク

グループワーク発表

エステサロンでの愛用者づくり

ヤクルトのエステを通じて、それぞれのお客さまに合った効果的なスキンケアの大切さやホームケアのアドバイスを行い、商品の価値をお伝えしています。

一人一人に合わせたカウンセリングを強化し、スタッフとお客さまが満足、喜びを共有し合える存在になることを目指しています。

エステサロン紹介動画はコチラ

エステサロン紹介動画

TOPICS

◆「ヤクルト アロマモイストハンドクリーム」を新発売

心地よい香りと高い保湿力でシーンや気分に合わせて使用できるハンドクリーム

2種類の香りのハンドクリームは、使用シーンや気分に合わせてお使いいただけます。

フレッシュ&シトラス

手肌になじみやすく、ベタつかない使用感と、気分がリフレッシュする爽やかなシトラス系の香りが日中使いにぴったり!

モイスチュア&ローズ

しっとりとコクのある使用感で、リラックスする上品なローズの香りが就寝時にもおすすめ!

部門紹介

3 価値普及マーケティング開発部

地域社会に対する健康貢献を通じて、お客さまや地域とのつながり強化に取り組んでいます。部内にはGENKI応援プロジェクトチームと管理栄養士チームがあり、企業への健康経営のご提案、地域での健康教室、行政や各団体との連携、お客さまの声の収集、旅行サービスなどエリア価値普及に取り組んでいます。

MISSION - 部門使命 -

価値普及マーケティングによる
新たなビジネスモデルの基盤の構築～エリア価値普及の推進～

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 企業の健康経営へのお役立ち

- ●企業の事情に合った健康経営プランの提供。
- ●昼食時間や会議など時間に応じた「健康教室」。
  「職場の健康応援DAY」の開催健康相談。
  血管年齢測定の実施。
- ●楽しみながら健康づくりをめざす「飲用体感会」や「ヘルスツーリズム」、「福利厚生企画」のご提案。

2 管理栄養士の健康へのお役立ち

- ●地域の集会所や各団体と協力した健康教室の実施。
- ●新しい生活様式に沿ったリモートでの健康教室の検証。
- ●持続的な健康づくりの検証活動として「90日チャレンジ」を社内で実施。

健康経営とは?

健康経営とは、企業が従業員の健康づくりに取り組み、持続可能な事業を目指す取り組みです。

メリットとは?

「従業員の健康、活力の向上」「満足度向上、人材確保」「生産性やイメージの向上」が期待できます。

群馬ヤクルトがめざす健康経営とは?

職場の健康課題を一緒に考え、無理なく楽しく健康に取り組める活動をめざします。

◆健康推進課　GENKI応援プロジェクトチーム

群馬県内の企業・従事者へ向けた健康経営の提案を行っています

詳細は特集P16・17へ

健康経営提案パンフレット

提案企業数
約45箇所

対象人数
約1,200名

◆健康推進課　管理栄養士チーム

健康教室

富岡市保健センター 様

富岡市保健センターの事業において、地域の方へ健康教室を7回実施しました。(カラダ元気塾5回・他事業2回)

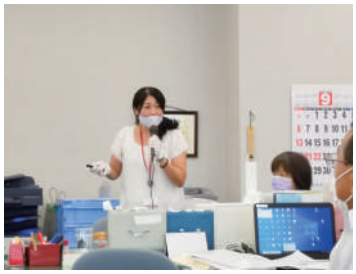
担当者の声

富岡市 健康福祉部
健康推進課 健康推進係
持田　美貴 様

市民の食生活に関する意識を向上するため、令和２年８月より運動教室「カラダ元気塾」にて、「腸内から健康づくり」や「熱中症予防」、「免疫力向上」をテーマに計５回栄養講話を実施していただきました。腸の模型を用いたり、クイズを取り入れたりなど、分かりやすく楽しい講話でした。また、血管年齢測定をしていただき、参加者の健康への意識づけとなったと思います。なにより、栄養士さんの笑顔が素敵で、笑いの溢れる明るい教室となりました。富岡市は、ヤクルト様と地域社会づくり連携協定を結んでおり、今後も共に市民の健康づくりに取り組んでいただけると幸いです。

中之条町教育委員会 様

中之条町ツインプラザにおいて教育委員会の皆さまへ健康教室を行いました。



担当者の声

中之条町教育委員会
地域コーディネーター
町田　信之 様

今年度、町内の教員が長期社会体験研修員として御社に派遣された縁もあり、2020年9月に中之条町ツインプラザ(町教育委員会)の職員向けに健康教室を実施してもらいました。20代～60代まで幅広い年齢の職員が、保育所・幼稚園・小中学校の教育と生涯学習の分野で活動する職場のため、仕事を充実させるためには自分の健康が一番であると感じていたところで、タイムリーな教室でした。食生活や睡眠のクイズなどを交えて、分かり易くお話いただき、自分の健康を守るためには、自己管理が大切であるということを改めて気づく良い機会となりました。

おなか元気教室

前橋市立粕川小学校 様

コロナ禍・感染症予防対策時期でも実施できる新たな取り組みとして前橋市立粕川小学校にて「非対面型おなか元気教室」を開催しました。学校の放送室より講師が授業を行い、各教室へテレビモニターを通じ映像を配信しました。

おなか元気教室
延べ参加人数

約600名

当日の様子はコチラ

児童の声

朝ごはんを食べてくると集中力が上がったり、体力が上がったりすることを知り、びっくりしました。今日の話を家族にも教えてあげたいと思いました。

担任の先生の声

小腸や大腸の長さを実際にクラスで測ったり、比べたりと子供たちが参加している意識を持つことができました。

管理栄養士による健康プログラム

「メタボ脱出!90日チャレンジ」を実施!

特定保健指導の対象者を減らす取り組みとして管理栄養士による健康プログラムを実施しました。5名で1チームとして、週に1度の管理栄養士からのミーティングを受け、続けられそうな事を自分で考えて実践しました。無理な減量はせず「健康になる」を目的として活動した結果、5名全員で28.8kg（1人平均5.76kg）の減量に繋がりました。

名前	11月30日	2月24日	結果
Aさん	74.75	69.80	-4.95
Bさん	100.90	95.90	-5.00
Cさん	81.80	77.30	-4.50
Dさん	74.76	68.65	-6.11
Eさん	93.90	85.65	-8.25
合計	426.11	397.30	-28.81
平均	85.22	79.46	-5.76

全員での目標達成を目指すことで、切磋琢磨し楽しい取り組みとなり、改めて自分の身体と向き合う機会になったと思います。今後も「お客さまに健康をお届けする企業」として、従事者自らが健康を実践できる取り組みを進めていきます。

◆旅行サービス課

旅行を通じた健康への取り組み

1.ヤクルト温泉宿泊券

ヤクルト温泉宿泊券「ヤクルトのおすすめ温泉宿」では 全国各地約200件のお宿、ホテルをご利用いただけます。ご当地自慢の温泉・お膳料理などご希望に沿ったお宿を厳選しております。

2020年度は6月に新しい宿泊券を発行し、人気温泉地・人気のお宿をそれぞれ10選写真掲載しました。コロナ禍においても、愛郷ぐんまプロジェクト「泊まって!応援キャンペーン」Go Toトラベルキャンペーンにも対応致しました。

ヤクルトおすすめ温泉宿はコチラ

左から、高橋明子・冨沢由美子

2.群馬県庁旅行コーナー

群馬県庁の地下1階にある旅行コーナーを運営しています。県庁職員様をはじめ多くの方々に支えられオープンから8年目を迎えることができました。JTBパッケージ商品の取り扱いや、JR発券機を備えておりますので、家族旅行や職場の親睦旅行、出張などに幅広くご利用いただいております。

〈群馬県庁旅行コーナー(県庁地下1階)〉
TEL:027-289-3900　FAX:027-289-3901
E-mail:kencho.gunma-yakult@bz04.plala.or.jp
営業日/月～金　9:00～16:00　休業日/土・日・祝日・年末年始

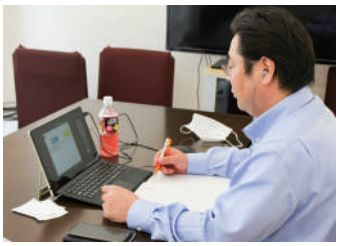
TOPICS

◆ヘルスツーリズム

健康経営を推進している企業の従業員様の健康づくりに向けてウォーキングをテーマとした旅行情報をご紹介しています。観光を楽しみながらウォーキングすることで旅行後に日常での運動習慣を身に付けることが期待できます。

紹介動画はコチラ

◆お客さまの声から学ぶ取り組み



1. Voice(ボイス)会議

2015年より、月に1回全部門の管理職が参加し、お客さまや従事者から寄せられた声や意見を共有しています。2020年からは感染症対策としてリモートで会議を実施しています。

お客さまの声

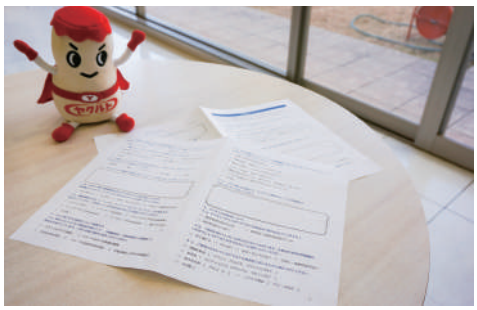
すてきな生活(お歳暮)商品チラシに原産地を記載してください。(沼田のお客さまの声)→お問い合わせにその場でお答えできるように手持ちで一覧表を持って活動します。

従事者の声

自販機の掃除用タオルの支給ありがとうございます。常に清潔な自販機を保つよう業務します。(直販サービス部)

2. ご意見番アンケート

年に1回、お客さまにアンケートの記入をお願いし、ご意見やご要望を集め、お客さまから学ぶことで顧客満足度向上を目指しています。

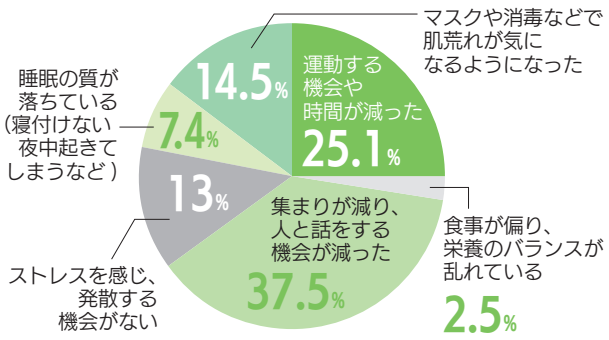


ご意見番アンケート2020

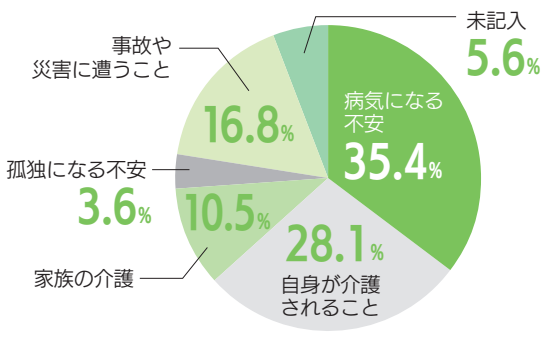
実施期間:2020年12月　回答者:923人

テーマ:コロナ禍における群馬ヤクルトの取り組み評価

Q 外出自粛などにより、日ごろの健康維持で特に不安に感じるようになったことがありましたら☑をつけてください(3つまで)



Q 群馬県や市町村と地域の課題解決に取り組んでいます。将来不安に感じる項目がありましたら、1つ☑をつけてください



お客さまの声

私の住む町はここ数年で急激に過疎化、まわりの商店はほとんど閉店となりました。加えてコロナ禍で自粛、ひきこもりの日々です。週一回のヤクルトのスタッフの訪問が楽しみです。ご自分の仕事に誇りをもってあたたかく対応してくださいます。(みなかみ町のお客さま)

ヤクルトスタッフさんはこのコロナ禍でも元気な姿で訪問してくださりありがたさを感じます。どうぞこんな時期ですので、お体を大切にしていただき、次のご訪問をお待ちしております。(みどり市のお客さま)

部門紹介

4

直販サービス部

直販サービス部は、県内の主要なスーパーへのヤクルト商品の納品、学校や幼稚園、病院、高齢者施設への給食としての納品、乳酸菌自動販売機など様々な場面から、「乳酸菌 シロタ株」の価値普及を行い、群馬ヤクルト管内のお客さまの「健康」を守るお役立ちを行っています。

MISSION - 部門使命 -

一人でも多くのお客さまの健康に役立つため『乳酸菌 シロタ株』のエリア価値普及を通じて、あらゆる可能性に挑戦します。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 店頭価値普及

●スーパーや量販店にて、お客さまに直接お会いして、ヤクルトの「価値」をお伝えしています。

2 乳酸菌自動販売機

●自動販売機を通じてお客さまとの対話を心がけます。ニーズに合わせた商品提案を行っています。

3 給食市場の拡大

●給食を通じて小さいお子様から高齢者まで、幅広く「ヤクルト」の価値をお伝えしています。

TOPICS

◆ ヤクルトプレゼンツ “喜びあふれる”献立コンテストを開催!

4月に栄養を強化してリニューアルしたジョア!ジョアを添えた献立をコンテスト形式で募集したところ、たくさんのご応募を頂きました。

北は青森から東は静岡までの東日本地区のヤクルト販売会社から、リニューアルしたジョアを使用した献立をコンテスト形式で応募したところ、たくさんのご応募を頂きました。その中で当社のお取引先である「身体障害者施設　青空」様の献立が審査員特別賞を受賞しました。

また、当社でも「免疫アップで賞」「腸の吸収が高まるで賞」「栄養素の吸収が高まるで賞」のオリジナル賞を設け、12の施設を表彰させて頂きました。

応募いただいた献立は、どれも素晴らしいものばかりでした。集まった献立を冊子にまとめお取引先へ配布の予定です。栄養士様にも喜んで頂けると思います。

応募作品レシピ集

応募総数

東日本地区 **206**点

内 群馬ヤクルト管内 **70**点

審査員特別賞

東日本地区206点の中から6点が最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞に選ばれました。その6点中1点が群馬ヤクルトのお取引先から選ばれましたのでご紹介します。

左から吉田睦子様(審査員特別賞)・中村昭子様(栄養の吸収が高まるで賞)・施設長高木政夫様

社会福祉法人　前光会
身体障害者療養施設　青空　調理師 **吉田　睦子 様**

献立

- さつま芋ごはん
- みそ汁
- ひき肉とリンゴのチーズ焼き
- もやしの酢の物
- ジョアストロベリー

◆ベンディング課

2021年2月現在 取引台数

事業所 **296**台

病院 **142**台

学校 **48**台

その他 **249**台

健康を届ける自動販売機、新たな価値の提案!!

当社のエリアで管理している自動販売機を通して、新たな価値普及を試みています。お客さまが安心して商品を手に取って頂けること、乳酸菌自動販売機から健康提案を行えることなど、ご利用いただいているお客さまと一緒に喜ばれる自動販売機づくりを実践しています。

試飲会の開催(湯浅製作所 様)

試飲会の開催(日本化薬 高崎工場 様)

手書きホワイトボードの掲示

ウイルスに負けるな「乳酸菌 シロタ株」普及コラム

自動販売機のお取引先での健康教室の実施

今年度よりグループ活動を実施

W飲用の良さを伝えるため「ヤクミル」や「黒酢ヤクルト」など、アレンジレシピを作成!

新進 利根川工場 様(前橋市)
担当　**杉山大樹**

お客さまの声を大切にして、積極的に自動販売機に反映しています

キンセイ産業 様(高崎市)
担当　**小池颯**

ニーズに応え、お客さまに寄り添った
自動販売機作りを目指しています

アムールタウン 様(高崎市)
担当　**関根洸平**

健康を楽しく選んで手に取っていただける
自動販売機になっています!

群馬中央病院 様(前橋市)
担当　**藤生高嗣**

公園の自動販売機なのでお子さんに
好まれるラインナップを考えました

玉村運動公園 様(玉村町)
担当　**下元康平**

手書きホワイトボードで、
プチ健康情報を毎週お届け!

県立埋蔵文化センター 様(渋川市)
担当　**田口友堂**

"365日、お客さまの健康を守る"
自動販売機づくりをしています!

相馬原駐屯地 様(榛東村)
担当　**友野翔平**

こまめに健康情報をお届けし、お客さま
とのつながりを大切にしています

グランポルト前橋 様(前橋市)
担当　**足助寛人**

お客さまのニーズに最大限
お答えします!

チキンフーズ 様(吉岡町)
担当　**内山京志郎**

施設の皆さんに安心して頂けるよう、
より一層5S活動に力を注いでいます!

ココン富岡 様(富岡市)
担当　**吉村海人**

お客さまと共にラインナップを考えた、
自動販売機です!

小林工業 様(前橋市)
担当　**大河原慶貴**

自動販売機からお客さまに健康を
お届け出来るように心掛けています

リケンテクノス 様(太田市)
担当　**三瓶紘明**

お客さまの健康に貢献できる
自動販売機を目指し活動しています!

ケアハウス前橋 様(前橋市)
担当　**飯塚純一**

従業員の方に24時間いつでも健康を
お届けできる自動販売機を目指しています

アプリス第二工場 様(前橋市)
担当　**家田康平**

◆量販課

2021年2月現在 取引軒数

スーパーマーケット
SUPER MARKET
31軒

ドラッグストア
28軒

小売店
41軒

レジャー施設
70箇所

お客さまの目を引く、魅せる売り場づくり

量販店やホールにおいて、季節やシーンに合わせた飾りつけを行い、お客さまに「気づいていただく」工夫をしました。

量販課
下平　りな

お客さまに注目される売り場づくりを心掛けました。今後も、「乳酸菌 シロタ株」の普及できる売り場を心がけていきます。

量販課
星野　睦子

「乳酸菌 シロタ株」の価値普及はもちろんですが、カラフルで明るく楽しい売り場づくりを目指しています。

YHA（ヤクルトヘルスアドバイザー）の活用

コロナ禍で試飲販売ができない状況が続いていますが、ソーシャルディスタンスを保ちながらボードを使用するなど、可能な限り価値普及を行っています。

知識向上のために、勉強会も実施し、少しでもお客さまにお役立ちできるようにしています。

YHAによる店舗での価値普及

当社管理栄養士による勉強会

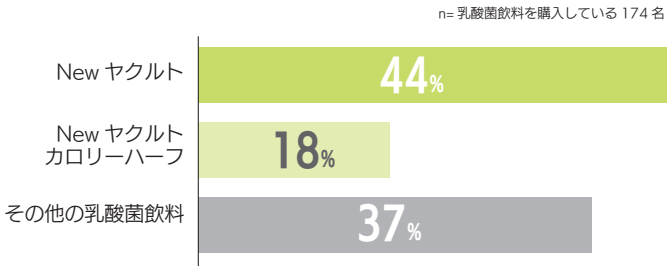
コロナ禍における乳酸菌飲料の飲用調査を行いました!

量販店で乳酸菌飲料を購入している174名を対象に、アンケート調査を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、お客さまの買い物に対する意識に大きな変化がありました。量販店では購入商品・購入頻度・購入金額に大きな変化があり、ヤクルトを購入される方も同様で、量販店における飲用傾向も見えてきました。

普段最も購入する乳酸菌飲料

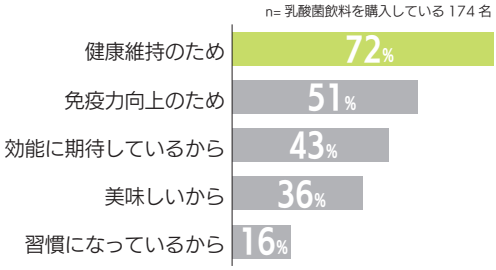
Q1 普段「最も」購入されている乳酸菌飲料を、1つだけ教えてください

乳酸菌飲料の購入者が最もよく購入しているのは「Newヤクルト」で44%の回答がありました。続いて「Newヤクルトハーフ」が18%と多くの方からの支持をいただきました!

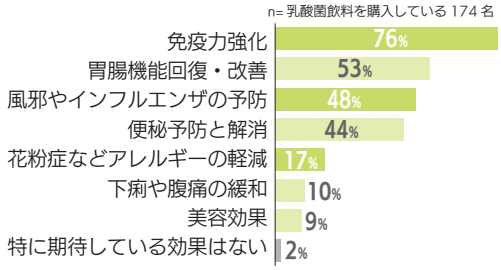


購入理由と期待すること

Q2 何故乳酸菌飲料を飲んでいますか?(複数回答可)



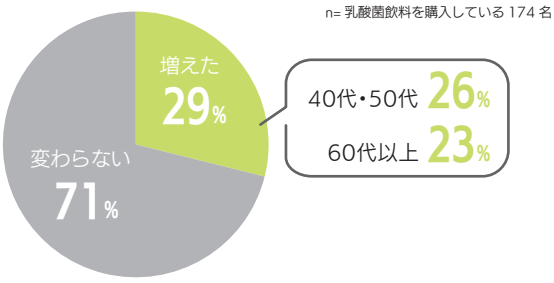
Q3 乳酸菌飲料に期待することはなんですか?(複数回答可)



乳酸菌飲料は主に健康維持を目的として飲用されています!「免疫UP」や「身体機能改善」を期待しているという声が多く聞かれました!

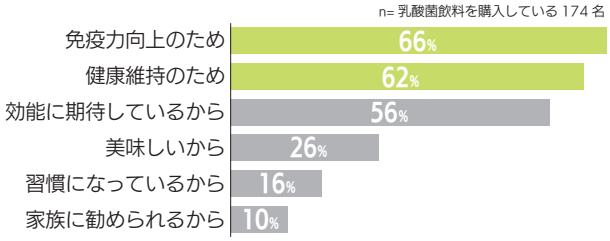
コロナウイルスによる購入変化

Q4 新型コロナウイルスの流行に伴い、乳酸菌飲料の購入頻度は増えましたか?(複数回答可)



新型コロナウイルス感染症の流行により乳酸菌飲料の購入頻度が増えた方は29%でした!健康に対する意識の高さがうかがえます。

Q5 乳酸菌飲料を購入する頻度は増えた理由を教えてください(複数回答可)



上記で乳酸菌飲料の購入頻度が増えた方は、「免疫力向上」・「健康維持」・「効能に期待している」を理由に購入頻度が増えた方が多く、より一層健康意識が高まっているように感じました!

◆給食課

2021年1月現在 取引軒数

幼稚園 **31**箇所

保育園 **177**箇所

学校 **152**箇所

病院・高齢者施設 **158**箇所

選ばれるには理由がある!利用いただく特典の1つです

学校給食でご利用いただくジョアやソフールは、ご依頼いただくとクラス分けやコンテナ配送を行っています。当社独自のサービスでもあるクラス分け配送は、取引先の学校や給食センター様から大変ご好評をいただいています。

1 クラス分け

2 配送

3 納品

4 回収

飲用後の容器は
責任をもって回収します。

高崎市立箕郷中学校
管理栄養士
松田　美智子 様

以前の勤務先の学校でも、クラス分けをお願いして助かっていたので、こちらに赴任してからもお願いしました。給食室は室内温度が高く、冷蔵庫から出してクラス分けをするには向いていません。温度管理も出来ないし、仕分けの手間もかかります。その点、ヤクルトさんにコンテナでクラス分けをお願いすると、クラス人数に分けられた商品が届き、そのまま教室まで運べるから本当に助かります。コンテナの衛生管理もしっかりしてくれているから安心です。

食後の空容器も教室からコンテナに入って戻ってきます。そのまま袋に入れて回収して貰えるのですから、他社のデザートを出すよりも、ヤクルトさんのソフールを選択する頻度の方が高くなりますよね。本当にクラス分けをして頂けるのは助かっています！

◆出張所

沼田出張所

中之条出張所

2021年2月現在 取引軒数

スーパー・小売店
SUPER MARKET
49軒

給食取引
42箇所

自動販売機
122台

活動報告

豆腐懐石 猿ヶ京ホテル 様（みなかみ町）

みなかみ町北部の猿ヶ京温泉にある猿ヶ京ホテルでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ウェルカムドリンクとしてNewヤクルトをご利用いただいています。

豆腐懐石 猿ヶ京ホテル
女将
持谷　美奈子 様

昨年来のコロナ禍のなかでお客さまへの接客も変化しました。赤谷湖を望む高台にあります旅館でございますので、到着時に赤谷湖を見ながらウエルカムドリンクを提供しておりましたが、密にならないよう、お部屋内で「菌に負けないヤクルトをどうぞ！」と手渡ししております！

道の駅八ッ場ふるさと館 様

昨年完成した八ッ場ダムに隣接する八ッ場ふるさと館には、遠方からのお客さまも多く、「ヤクルトの乳酸菌自動販売機」を設置させていただいております。

道の駅八ッ場ふるさと館
代表取締役
篠原　茂 様

店内と室外に1台ずつ設置していただいております。ヤクルトやジョアなどの乳酸菌飲料を取り揃えており、多くのお客さまにご利用頂いております。また、毎年創業祭やイベント開催時にはヤクルトを協賛していただきお客さまにも大変好評です。

部門紹介

5

総務部

総務部は、総務、人事、労務法務、託児運営、保険、コールセンターと業務が多岐にわたり、豊富な知識と経験が求められる部門です。決して目立つ仕事ではありませんが、イノベーションを繰り返し、全従事者の労働環境を整備し、生産性の向上をすることで「健康経営の実現」を目指しております。

MISSION - 部門使命 -

「エンゲージメントの高い組織」の実現

全従事者の働きやすい環境づくりに取組み、生産性を向上させ、経営品質を向上させることで経営基盤強化に貢献します。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 健康増進、維持、改善活動

2 コールセンターを活用した価値普及

3 働き方改革の推進 人事制度見直し

4 リスクマネジメント

5 安全・安心な保育環境整備

6 給与・勤怠管理のクラウド化

◆総務課

全従事者の健康管理、庶務業務から会社行事運営まで幅広い業務を行っております。

- ◆事業計画発表会 / 新年会の運営
- ◆避難訓練　◆健康診断の実施

消火訓練（サービスセンター）

特定保健指導

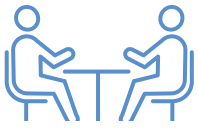
各センターへ感染予防

産業医の紹介

2019年4月より群馬ヤクルトの皆様の産業医をさせていただいています。

若宮内科　医師
野村　博子 先生

2020年度 産業医健康相談



相談数

25名

◆労務法務課

勤怠管理や行政対応など全従事者の人事管理業務を行っております。

- 確定申告/年末調整
- 給与/販売手数料
- 保健関係(小規模事業共有)
- 同仁協会諸手続

◆保険課

損害保険と生命保険の代理店業務を通じて、全従事者のリスクマネジメントを行っています。

会社車両等の事故対応などの安心して働ける環境を提供しています。

2020年保険加入者数

891名

◆コールセンター

お客さまからのお電話に迅速かつ+α な対応を目指しています!

コールセンターでは、オペレーターが様々なお問い合わせに対応しています。ただの取次ではなく、心のこもった価値普及を行うとともに、お客さまの声を収集し、各部門にお届けする役割を担っています。

主な業務

1 商品の受注

2 お問い合わせ対応

3 温泉宿泊券受付業務

4 その他の対応業務

◆託児運営課

安心・安全な保育環境づくりと保育士の労働環境の改善に取り組んでいます。

キッズルーム施設数

17 カ所

◆群馬ヤクルトキッズルームの紹介

群馬ヤクルトのキッズルームは、有資格者の経験豊富な保育士がお子さんをお預かりしています。

キッズルーム利用者の声

CASE 01

育児休暇が明けて時短勤務をするにあたり、会社と密接したキッズルームのほうが便利かつ、1歳児から預けるとなると保育園よりも経済的に負担が少ないということもキッズルームを利用するきっかけになりました。

キッズルームは保育士の先生方との距離感が近いので、子どもの様子や心配事など相談しやすいですし、日中、子どもがどんなふうに過ごしているか毎日詳しく教えてくれるので、とても安心します。子どもの様子を見てものびのびと成長できていると感じています。

そして何よりも、近くに子どもがいる安心感から仕事に集中して取り組めることが一番の良かったことです。

宅配サービス部
林　美咲
佑飛クン（1歳）

CASE 02

以前から仕事を始めたいと思っていたのですが、保育園には空きがなく、働くことをあきらめていました。

そんなときヤクルトにキッズルームがあることを知り、見学に行ったところ、息子たちが楽しそうに遊んでいる姿をみて、このキッズルームなら安心できると感じ、預け働くことを決めました。

キッズルームに通いはじめてから、息子たちは挨拶ができるようになり、一人で上手にご飯を食べられるようになるなど、日々成長していることを、とてもうれしく思います。

また、私が子育てに悩んだ時には親身に相談にのってくれる保育士の先生方には本当に感謝しています。

境SC
佐久間　梨瑚
唯斗クン（1歳）
悠斗クン（2歳）

KIDS ROOM 01
前橋東SC
キッズルーム

（左から）中澤貴美子、中村知佳、藤本愛美

KIDS ROOM 02
平成大橋SC
キッズルーム

（左上から）小柴和子、櫻井紀子、
近藤豊、鶴見明子

KIDS ROOM 03
問屋町SC
キッズルーム

（左から）小柴光枝、川崎桂子、
阿部裕子、高山陽子

KIDS ROOM 04
富士見SC
キッズルーム

（左から）吉野順子、湯浅真由美、板橋浩子、
荒木美紀、高橋啓子

KIDS ROOM 05
沼田SC
キッズルーム

（左上から）上林昭子、藤井きよみ、金井千栄子、
堤とよ子、塚田貴子

KIDS ROOM 06
中之条SC
キッズルーム

（左から）今井益栄、高山順子

KIDS ROOM 07
渋川SC
キッズルーム

（左から）平井幸枝、林舞、粕川直子

KIDS ROOM 08
上並榎SC
キッズルーム

（左から）宮前桂子、津久井晶子、
新井奈津姫、市川美枝子

KIDS ROOM 09
高崎東SC
キッズルーム

（左上から）関塚紀子、岩崎美智子、
河島かおり、小林一葉

KIDS ROOM 10 吉井SC キッズルーム

(左から)戸塚友美、内田久美子

KIDS ROOM 11 富岡SC キッズルーム

(左上から)三重野啓子、篠原洋子、
黒澤みゆき、佐藤小貴子、佐俣富美子

KIDS ROOM 12 安中SC キッズルーム

(左上から)松尾由衣、宮口ゆきみ
神宮由紀子、佐藤小貴子、中島尚子

KIDS ROOM 13 太田宝泉SC キッズルーム

(左から)武井悦子、髙田純子、上原愛

KIDS ROOM 14 境SC キッズルーム

(左から)土肥左緒理、三田朱音

KIDS ROOM 15 笠懸SC キッズルーム

(左から)野原道子、中澤陽子、田部井亜希子

KIDS ROOM 16 玉村SC キッズルーム

(左から)古川直美、八木節子

KIDS ROOM 17 藤岡SC キッズルーム

(左から)君野あゆみ、斉藤孝美

フォロー担当保育士紹介

フォロー担当保育士
穴原　雅代・後藤　真実

部門紹介

6 財務部

財務部は、従来の会計業務に加え、社内の資金ニーズを把握し、資金の調達、計画、運用、予算実績管理を主な仕事としています。売上金を事業を回したり、働きやすい環境整備に有効に投資したり、よい循環が生まれるように取組んでいます。

MISSION - 部門使命 -

「プロフェッショナル」な守りと「冷静・果敢に挑戦する」
攻めの姿勢で健全な経営体質を維持強化していきます。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 各部門 予算実績情報分析

2 各部門への フィードバックと 予実管理

3 有利な条件での 資金調達

4 負債 借入金 縮小長期計画 「最終目標ゼロ」

5 売掛金管理強化

6 業務の仕組化促進

7 AI活用検討

◆業務内容

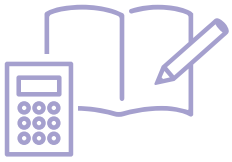
日々の入金・出金管理に加え、資金繰りや資産の管理を行います。決算処理も重要な仕事です。

入金・出金管理

資金繰り管理

資産管理

決算処理



日次

- 現預金管理
- 入出金処理
- 売掛金管理
- 仕訳処理

日々の取引

月次

- 請求書チェック
- 財務諸表作成
- 実予算管理
- 月次締め

1年間、日々行う

財務諸表の作成

年次

財務諸表 ＋ 決算書作成

1年間の最後に作る

部門紹介

7 人材開発部

各種研修・制度を通して、従事者のスキルアップできる環境づくりを行なっています。奉仕の心と高い教養・スキルを持ち併せた人材育成を目指し、様々な活動に取組んでいます。

MISSION - 部門使命 -

人事ビジョン「一人ひとりがリーダーシップを発揮し、
生き活きと働ける環境を実現します」の達成。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

エンゲージメント向上に向けた取り組み

1 1on1ミーティングの実践

2 同行・メンター活動

3 社員採用の多面展開

◆新入社員研修

新入社員一人ひとりが自信とやりがいを持って活動できることを目指し、基礎となる群馬ヤクルトの理念と価値観をじっくりと学びます。また、各種スキルを身に付けることで考動できる人材育成を目指しています。

本田会長講話

各部門研修でのプレゼンテーション

キッズルーム研修で子どもたちと「バナナ体操」

サービスセンターにてミニ健康教室実施

◆資格取得・学習の支援

従事者各自の自主的な能力開発を支援しています。

各受講者

ヤクルト本社通信教育 87名

ヤクルトセルフプロデュース検定 11名

健康管理能力検定3級 46名

健康管理士一般指導員 8名

リテールマーケティング(販売士)2級 13名

◆ヤクルトスタッフ研修

お客さまに健康と笑顔をお届けするプロとして、多様なカリキュラムの研修でスキルを身に着けます。

入社

新人座学研修（10日間）
企業理念・健康・商品知識・コミュニケーション・
コンプライアンス・マナー・ホスピタリティ 等

同行育成

2か月後

新人実地研修（1か月半）
先輩YS同行・挨拶訪問・
ロールプレイング研修 等

スキルアップ研修
救命救急研修・好事例共有・商品知識の確認

約3か月後

新人研修卒業 お客さまの元へ

約1年後

フォロー研修
先輩スタッフの
体験発表・仲間と
意見交換

ヤクルトスタッフとして活躍！
（優秀新人賞受賞率98%）

◆「ボイスの時間」の実施

上司・部下の関係値向上と、部下側の成長支援を目的に、当社では1on1ミーティングを「ボイスの時間」の呼称で実施しています。部下の声に耳を傾け、誰もが安心して前向きに仕事に取り組むことができる環境を目指し、人材開発部では、エンゲージメント向上プロジェクトの活動とともに、導入時研修やアンケート集計を行っています。

経営幹部導入研修

㈱アドリーマックス有馬映子講師

役員・部門長を中心に15名受講

集合・個別ミーティング

各3回

導入時実施者研修

実施者（上司側）

37名受講

◆インターンシップ、高校生向けイベント出展

インターンシップ参加者
（大学生・高校生）

71名

今年度はオンラインも含め、大学生向け・高校生向けで実施し、年間で71名の学生・生徒の皆さんにご参加頂きました。社員研修の体験や社内見学、社員同行、社員によるワークショップを通して、群馬ヤクルトの価値観や働くことの意味について理解を深めて頂きました。

また高校生の就業観向上や地元企業を知ることを目的として開催された「ミライバシ2020」にも出展しました。

インターンシップ参加学生の声

スタッフ同行を通して、お客さまへの細やかな心配りを見ることができ、感動しました。（高校1年生/女性）

コロナ禍でオンラインの実施でしたが、グループワークや社内見学で働くイメージが沸き、有意義な時間でした。（大学3年生/男性）

◆社員採用活動

新たな人材との出会いを求めて、新卒・中途採用活動も積極的に行っています。合同企業説明会では、各部門で活躍する社員が、当社の魅力や仕事のやりがいを語っています。

採用試験では入社後のギャップを無くすために、なるべく多くの情報発信を行っています。また、面接においても対話を大切にし、学生皆さんの声への傾聴に努めています。

＜採用イベント参加実績＞

◆上毛新聞社ぐんま就活フェア ◆リクナビ仕事万博in高崎 ◆マイナビ就職セミナー ◆ジョブカフェぐんまweb合説in群馬 ◆スパン業界研究 ◆仕事発見セミナー等

＜大学開催の企業セミナー、会社説明会参加実績（今年度）＞

◆共愛学園前橋国際大学 ◆高崎経済大学 ◆上武大学

◆長期社会体験研修（現役教員）の受入れ

群馬ヤクルトでは、長期社会体験研修員を5年連続で受け入れをしていただき、私で5人目になります。各部門での活動やプロジェクト活動での1年間の研修を通して、大きく2つのことを学ばせていただきました。『お客さまや社員との信頼関係を構築するために、「傾聴」を意識して活動することの大切さ』と『会社のビジョンや理念を社員全体で共有し、当事者意識をもって行動することの大切さ』です。本研修での学びを、学校現場に何より生徒たちに還元していきたいと思います。

私は、群馬ヤクルトで研修ができたこと、そして多くの社員の方やスタッフの皆さんと出会い、一緒に活動できたことに感謝をしています。『利他の心』を大切にしている“優しさあふれる雰囲気の良い群馬ヤクルト”で、1年間充実した研修の日々を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

中之条町立中之条中学校
黒岩　真澄 さん

部門紹介

8

基盤開発部

商品の仕入れから受発注、請求処理などの販売管理、お届けに使用する資材管理やサービスセンター・車両などの資産管理を行っています。また、社内のネットワークや、システムの運用管理もあわせて行い、社内インフラ改革により生産性を高める基盤を構築しています。

MISSION - 部門使命 -

情報・流通の社内インフラ改革により、
生産性を高める基盤を構築する。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 流通インフラの改革

●商品の仕入れから受発注、ピッキング、お届けまでの流通の仕組みや設備・資材を見直し、流通インフラの改革を実施する。

2 情報インフラの改革

●AIの検討や、モバイル端末機器などの導入による、情報インフラの基盤改革により、全社のコミュニケーション強化・ペーパーレス・電子決済などのIT化を促進する。

◆商品資材管理課

商品の受け入れやピッキングなどの商品管理、お届けなどの活動に必要な資材の管理を行っています。

◆配送課

サービスセンターへの各種資材の配送、産業廃棄物回収を行い、サービスセンターの運営サポートを行っています。

◆販売資産管理課

商品の仕入れから受発注、請求書発行など販売管理、サービスセンターや車両などの資産管理を行っています。

YS車両導入台数

460台

◆情報システム課

社内のネットワークやシステムの運用管理、新たなシステムの導入を通して生産性の向上をサポートしています。

YSスマホ導入台数

716台

モバイルPC導入台数

110台

情報共有の迅速化～クラウドシステム導入～

YSを含む全従事者間の速やかな情報共有と生産性の向上を目指しています。

Garoon（ガルーン） Cybozu KUNAI kintone

部門紹介

9

広報部

様々な情報の受信、発信を行い、社内コミュニケーションと地域コミュニケーションの向上を図ります。ヤクルトの価値普及における情報センターとしての役割を担います。

MISSION - 部門使命 -

エリア価値普及を通じ
地域に適したブランド戦略の実施。

POLICY - 基本方針と重点施策 -

1 信頼感・評価の向上による企業価値の向上

2 経営と事業へのフィードバック

3 社会と良好なコミュニケーションの保持

4 従事者の結束力の源になる情報を発信

◆メディア・報道機関への情報提供

当社の活動を知っていただくため、メディアへニュースリリースをしています。

2020年度　メディア取り扱い **37**回　新聞掲載 **24**回　テレビ **13**回

群馬テレビ「ビジネスジャーナル」「森永卓郎の元気情報2021」に取り上げていただきました。

ビジネスジャーナル

2020年10月23日(金)
22:00～22:30放映

森永卓郎の元気情報2021

2021年3月27日(土)
19:00～21:00放映

◆新たな価値普及方法としてオリジナル動画の配信をスタート!

動画コンテンツ(YouTube等)を活用した幅広い層へのアプローチのため、動画の撮影・編集、そして配信を始めました。

◆社内広報紙Voiceを毎月発行

社内情報共有の場として、社内広報紙「Voice」を毎月1日に発行しています。

◆群馬県福祉ヤクルトの実施(両毛ヤクルト様・埼玉北部ヤクルト様との共同事業)

1995年から県内の福祉事業向上を目指して、障害者施設、老人福祉施設、児童福祉施設へ毎年寄贈しています。

通算総額 **34,216,155**円

株式会社孫の手様より
感謝のお手紙をいただきました

◆東京オリンピックを目指す南スーダン選手の長期合宿事業に協力

前橋市が行っている、東京オリンピック・パラリンピックに向けた南スーダン共和国の選手5名の長期事前キャンプに協力しています。

◆(一財)群馬県老人クラブ連合会と地域づくり連携協定を締結

地域の見守り支援・健康づくり推進に向けた健康教室の実施やPRについて、相互に連携・協力し、会員様の健康増進・活動の充実や発展に寄与することを目的に、包括連携協定を締結いたしました。

協定式

さわやか群馬リーダー養成セミナー管理栄養士派遣

TOPICS ◆群馬県バウンドテニス協会〈事務局〉

バウンドテニスは、(株)ヤクルト本社および各販売会社が支援しています。広いスペースがなくても楽しむことができ、十分な運動量がある生涯スポーツとして考案されました。当社も事務局として地域の皆様の健康なカラダづくりを応援しています。

【入会等のお問い合わせ先】群馬県バウンドテニス協会事務局

群馬ヤクルト販売(株)内　広報部　住所／前橋市高井町1-7-1　電話／027-251-8960

◆自治体と連携し地域づくりを行います

自治体と地域住民の健康や地域づくりに関する活動を協働で行っており、「健康推進及び食育」「高齢者・障害者及び子供の支援」「スポーツ及び文化振興」「防災・災害対策及び防犯」「町村政のPR及び観光振興」などの項目について、新たに5つの自治体と協定を締結いたしました。

2020年度　新締結自治体

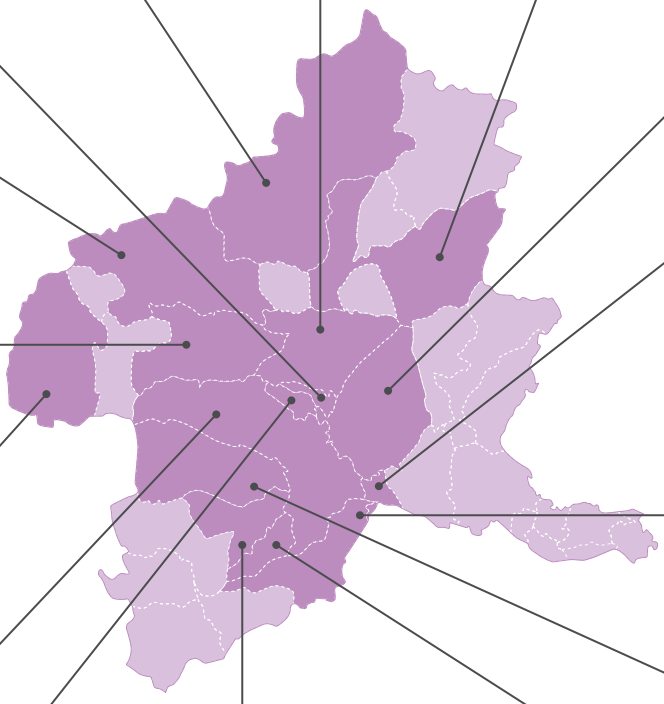
◆吉岡町　◆嬬恋村　◆みなかみ町　◆中之条町　◆東吾妻町

2020年現在

1県7市6町2村の16の自治体と協定を締結

締結自治体人口計

約1,092,563名



吉岡町（2020年7月）

●「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」

みなかみ町（2021年2月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

渋川市（2018年6月）

●「連携協力に関する協定」

沼田市（2019年3月）

●「連携協力に関する協定」

前橋市（2020年11月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

中之条町（2021年2月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

玉村町（2017年11月）

●「地域社会づくり連携に関する協定」

東吾妻町（2021年2月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

藤岡市（2018年3月）

●「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」

嬬恋村（2020年11月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」

高崎市（2017年9月）

●「健康づくりの推奨に向けた連携協力に関する協定」

榛東村（2019年10月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」

富岡市（2018年9月）

●「地域社会づくり連携協力に関する協定」

甘楽町（2019年7月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」

安中市（2018年8月）

●「連携協力に関する協定」

Newspaper Article

新聞掲載記事紹介

２０２０年度１年間で群馬ヤクルトが新聞で取り上げられた記事を紹介します。

飲料贈り学童を応援

群馬ヤクルト、協定基づき

上毛新聞
2020年4月23日号

芸術家支援 車寄贈

群馬ヤクルトが高崎市に

朝日新聞
2020年6月5日号

群馬ヤクルト販売(前橋)から藤岡市の2病院へ 飲料商品4500本

上毛新聞
2020年5月17日号

群馬ヤクルトと県老人クラブ連合会

健康増進へ協定締結

協定書を交わす塩谷社長(右)と大貫理事長

上毛新聞
2020年7月17日号

群馬ヤクルト販売
宅配サービス部
岡田 愛未さん(左、入社１年目)
椎名 江里加さん(右、入社１年目)

上毛新聞
2020年8月15日号
ぐんま愛ここに生きる企画より

芸術家拠点に軽自動車寄贈

群馬ヤクルト 高崎市贈呈式

贈呈式に出席した塩谷社長(右)と富岡市長

上毛新聞
2020年6月5日号

芸術家の卵に軽乗用車寄贈

毎日新聞
2020年6月5日号

町民の健康増進 観光振興で協定

吉岡町と群馬ヤクルト

上毛新聞
2020年7月30日号

連携協定を締結

群馬県老人クラブ連合会 群馬ヤクルト販売

締結式の様子

ぐんま経済新聞
2020年7月23日号

食事で免疫力アップ

管理栄養士がセミナー

上毛新聞
2020年7月29日号

働く楽しさ高校生に説く

群馬ヤクルト 本田会長講演

上毛新聞
2020年9月18日号

カップで食べる「ヤクルト」販売

来年4月まで

上毛新聞
2020年9月11日号

上毛新聞
2020年11月18日号

広域消防が委嘱

ヤクルトレディが報知器設置を啓発

上毛新聞
2020年10月28日号

ヤクルトレディ 15年ぶり一新

冬の制服 機能的に

新しい冬制服で製品を届けるヤクルトレディ

健康で安心な地域へ７項目

市と群馬ヤクルトが協定

前橋

上毛新聞
2020年11月13日号

地域振興で連携

村と群馬ヤクルト販売

嬬恋

上毛新聞
2020年11月11日号

車にステッカー 電子申告ＰＲ

群馬ヤクルト

車両にステッカーを貼り電子申告ＰＲ

上毛新聞
2020年12月9日号

寄付

日本赤十字社県支部に100万円

群馬ヤクルト販売（前橋市）

上毛新聞
2021年3月13日号

＠ワーク

群馬ヤクルト販売

現場経験 販促に生かす

原田 栞さん(28)

上毛新聞
2021年3月5日号

医療従事者 飲料で応援

群馬ヤクルト

安中

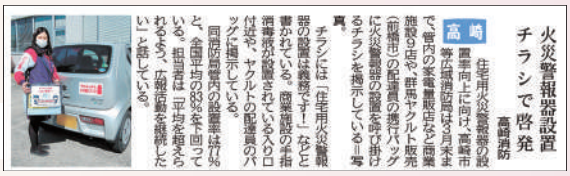
上毛新聞
2020年12月30日号

住民見守りや健康増進で協定

町と群馬ヤクルト販売

東吾妻

上毛新聞
2021年2月27日号



火災警報器設置 チラシで啓発

高崎消防

高崎

上毛新聞
2021年3月10日号

上毛新聞
2021年3月26日号

チームでメタボ脱出

群馬ヤクルト販売株式会社

上毛新聞
2021年2月25日号

コロナ禍 バス支援

永井運輸 前橋の路線

群馬ヤクルト ラッピング広告

永井運輸前橋営業所を出発するラッピングバス

健康増進など７項目で連携

安心な生活の実現目指して

群馬ヤクルト 自治体と協定

中之条

みなかみ

上毛新聞
2021年2月20日号

Community Involvement

地域社会とともに

6月 4 2020

芸術・文化への貢献

高崎市との連携協定に基づき「軽自動車」を高崎市に寄贈しました。これは今年、高崎市が榛名湖畔に芸術家、芸術を目指す人のために、宿泊施設「アーティスト・レジデンス」を開所することとなり、提供した車両は、宿泊者の足にご利用いただくことになっています。

身近で大切な芸術ですが日本においては小さいころからの馴染みは薄く、それを育てる環境も少ないのが実情です。そこでこのような背景の中で、今回の高崎市の芸術への取り組みに賛同をし、寄贈することになりました。

これからも、豊かで楽しく、明るく、生きがいのもてる街づくりに地元企業として出来る限り貢献して行きたいと考えています。

6月 11 2020

本店で献血を実施

本店にて献血が行なわれ29人の方にご協力いただきました。現在、新型コロナウイルスの影響により献血する方が減っており、患者さんに届けるために必要な血液量の確保が困難な状況です。今回の献血に対し、赤十字血液センター様より「大雨の中、多くの方々にご参加いただき、献血することができました。本当にありがとうございました」と、感謝の言葉をいただきました。また午後に実施したこともあり、宅配・直販の社員も参加することができました。

今後も群馬ヤクルトが出来る社会貢献を行って参ります。

8月 16 2020

原野亜衣さん（宅配サービス部）県民スポーツ祭で優勝

第37回県民スポーツ祭第52回群馬県年齢別ソフトテニス大会の女子30歳代未満の部で原野社員・坂東選手のペアが見事優勝しました。

当日は気温が上がり熱中症の対策、そして新型コロナウイルス対策を徹底する難しいコンディションでした。

練習、大会など普段通りに行かない中でも、真摯に競技に取り組む原野社員をこれからも応援します！

9月 17 2020

山本知事を表敬訪問

塩谷社長が、山本一太・群馬県知事を表敬訪問しました。今回の訪問は知事就任後初めてであり、新型コロナウイルス感染症対策等の忙しいご公務の中、貴重な機会となりました。

知事には群馬ヤクルトのSDGsへの取り組みや、ヤクルト本社ミルミルCMをご紹介させていただくとともに、県と締結している「健康づくり推進連携協定」をより強化していくことを確認させていただきました。

9月 23 2020

連携して地域の見守りに貢献

高崎問屋町SCにおいて、高齢者あんしんセンター希望館の鳥塚典恵様より、地域見守りへの取り組みについて、お話を伺いました。同施設は地域包括支援センターの役割を担っており、「ヤクルトのお客さまの中で健康や生活全般に関わる心配事など、気になることがあったら、気軽に相談してほしい」とおっしゃっていました。

2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるという推計もあります。毎週お伺いしている、お客さまにとって心強い存在となれるように、これからも活動していきましょう!

10月 15 2020

赤城健康公園がリニューアルオープン

渋川市赤城健康公園がリニューアルオープンし、オープニングセレモニーでは渋川市長高木勉様によるテープカットが行われました。その後、当社が派遣した健康運動指導士による介護予防サポーターを対象とした「健康づくり体験会」が開催されました。リニューアルした赤城健康公園はウォーキングコースが整備され、より歩きやすくなりました。お近くの方は、ぜひ行ってみてください!

Community Involvement

地域社会とともに

10月 16 2020

沼田市ウォーキング大会に協力

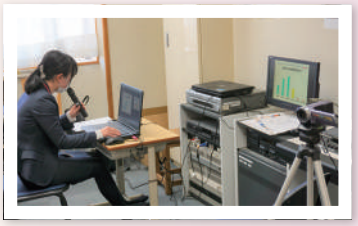
沼田市に新設された野球場クライムスタジアムぬまたで行われたウォーキング大会に協力しました。沼田市内から120名の参加があり、新型コロナウイルスに十分配慮した上で、脚力に合わせて2㎞～4㎞の球場周辺のコースを歩きました。ヤクルトは沼田市のスマートウエルネス事業に協力しており、運動＋ヤクルトでの市民の健康づくりをサポートしています。

11月 5 2020

放送室からおなか元気教室

前橋市立粕川小学校の4、5、6年生230名を対象にしたおなか元気教室を実施しました。3密に配慮して中島主任（価値普及マーケティング開発部）が放送室から講演を行い、各教室のモニターにスライドを映しました。腸模型はビニールテープで代用し、各教室で腸の長さを体験できるように工夫しました。児童や先生からは「わかりやすくよかった」と嬉しい言葉を多くいただきました。

今後も安全安心を最優先として、価値普及に取り組んでいきます。



11月 9 2020

高崎消防局と連携協力

高崎市等広域消防局において「令和2年秋季全国火災予防運動実施に伴う広報活動」の一環として委嘱状交付式及び出発式が行われました。式には高崎市副市長・齋藤達也様、安中市副市長・粟野好映様を迎え、当社からは塩谷社長、広兼取締役部長が出席しました。

また、スタッフを代表して高崎南SCの川嶋恵美スタッフ・織田美沙スタッフ・田村千恵スタッフが出席し、YJ100の前面ポケットに入れた啓蒙チラシがお披露目されました。

この活動は高崎市等広域消防局より依頼されたもので、今後は住宅用火災報知器の設置率向上を図るための啓発チラシの配布を行います。配布対象は同局管内の住宅1万7千軒、事業所1,870社です。

11月 11 2020

大学生に多様な支援

玉村町役場隣のホールで群馬県立女子大の学生への食料支援に参加しました。この活動は、コロナ禍でバイトができず収入に影響がある一人暮らしの学生向けに玉村町と各企業で取り組んで行ったものです。食料提供の他に学生同士や社会人との交流も目的としており、人と話す機会が減っている学生には嬉しい場となったようです。

また、ヤクルト商品の提供の他に、管理栄養士が作成した学生向けの健康情報と体をあたためる健康レシピを配布したところ、作ってみたいと好評でした。

11月 12 2020

「健康づくり協定」から「地域社会づくり包括連携協定」に移行

前橋市と「地域社会づくり包括連携協定」を締結いたしました。これまでは健康に関してのみの協定でしたが、地域包括連携協定を締結した他の市町村と当社の協力関係が認められ、前橋市との地域包括連携協定に至りました。

今回は健康をはじめ、高齢者の見守り、防災・防犯対策、結婚・子育て、観光・スポーツ振興などの7項目で連携していくこととなります。前橋市長山本龍様は締結式で、「前橋市民の健康を、ヤクルトの皆さんと力を合わせて支えられればと期待しております」とおっしゃっていました。

11月 26・27 2020

高崎北高生がインターンシップで来社

高崎北高校1年生の4名が、当社にインターンシップ生として来社しました。群馬ヤクルトの理念やお客さま対応マナーについて学んだほか、実際のお客さま対応について学ぶため、吉岡SCの野嶋さん、上原さん、富士見SCの中村さん、萩原さんにそれぞれ同行しました。

参加した高校生からは、「利他の心について学ぶことができた」「AIの時代になっても、人にしかできない仕事について知ることができた」との感想を頂きました。

12月 8 2020

ステッカー広報出発式

群馬ヤクルト本店玄関前において「確定申告、走って広報！ステッカー広報出発式」が行われました。この活動は前橋税務署からの依頼を受け、当社の営業車にステッカーを貼り、スマホでの確定申告やe-Tax（国税電子申告・納税システム）の利用を呼びかけるものです。

当社は2013年度から毎年協力しており、今回で8回目の実施となりました。式では前橋税務署・桜井昇署長より「3密回避のため、ぜひスマホやパソコンから申告してほしい」との挨拶があり、塩谷社長は「多くの人に活用してほしい」と挨拶し、お届け車両にステッカーの貼付を行いました。

12月 10 2020

高校生向け将来探求イベント～2020ミライバシ～に出展

ヤマダグリーンドーム前橋にて「2020ミライバシ」が開催され、人材開発部が出展しました。このイベントは県内の高校生を対象とし「『学び』から『仕事』への広がりを知る」ということをテーマに地元企業や進学先となる大学・専門学校の魅力について知ってもらうイベントです。

当社のブースでは、「ヤクルトクイズ」を通して、群馬ヤクルトならではの地域貢献について学んで頂きました。コロナ対策を万全に行いながらのイベントとなりましたが、多くの高校生に当社が行っている活動について知っていただくことができました。

2月 5·6 2021

群馬クレインサンダーズを応援

Bリーグ「群馬クレインサンダーズ」の試合会場に「つば九郎」がゲスト応援のため駆けつけてくれました。さらに来場者に対して「つば九郎からのお土産」として「カップdeヤクルト」を無料配布したところ、「すごく美味しい！」と、ファンの皆さんやチーム関係者からも非常に喜ばれ、お礼の言葉を多数頂戴しました。ちなみに、つば九郎は「カップdeヤクルト」の宣伝部鳥を務めています。

群馬ヤクルトは、今後も地元のプロスポーツを応援していきます。

2月 25 2021

前橋市内を「Yakult1000」「お届けネット」のラッピングバスが走ります！

前橋市で運行しているマイバス（西循環）に、2月25日より「Yakult1000」及び「ヤクルト届けてネット」の案内をラッピングした車両が登場しました。

この企画の目的は、地域の皆さまに当社の取り組みを知っていただくだけでなく、地域の公共交通の要であるマイバスの利用促進の一助になることを願ったものです。

3月 9 2021

日赤に東北復興の義援金を寄付

当社は東日本大震災の被災地復興に役立ててもらうため、日本赤十字社群馬県支部に100万円を寄付しました。これは、東日本大震災復興応援を目的に行っている、宅配サービス部の「復興応援」企画の第7回目の売上の一部です。

日本赤十字社群馬県支部で開催された贈呈式には、塩谷社長とともに関口専務、広兼取締役部長、平成大橋ＳＣの原野亜衣社員が参加し、同支部の根岸信宏局長に目録をお渡ししました。

3月 25 2021

福祉ヤクルト／福祉施設に災害備蓄品を寄贈

群馬県庁において「福祉ヤクルト」寄贈品受託式が開催されました。当社は、両毛ヤクルト、埼玉北部ヤクルトの協力のもと、1995年より社会貢献活動の一環で、毎年「福祉ヤクルト」として群馬県を通し、福祉施設に災害備蓄品等を寄贈してきました。

当日、県からは武藤幸夫健康福祉部長ら4名が出席され、ヤクルトグループからは塩谷社長、両毛ヤクルト・清水栄一常務、埼玉北部ヤクルト・田口勝彦取締役が出席しました。

受託式では、群馬ヤクルト宅配サービス部の阿部清美さん（平成大橋SC）、片桐雪絵さん（前橋中央SC）の両スタッフから寄贈品の目録をお渡しし、武藤部長からは各販売会社に感謝状が授与され、長年にわたる福祉施設への寄贈に対する謝辞をいただきました。

表彰状・感謝状

今年度、群馬ヤクルトや従事者の日頃の活動に対して自治体や警察、団体からその活動を高く評価していただき、授与された表彰状・感謝状です。

今後も、社会の課題解決の為、地域社会とともに取り組んでまいります。

高崎市教員委員会が企画する事業へ13年にわたり協力に対する表彰（親子で参加富士裾野工場ツアー）

群馬県知事より福祉ヤクルトの寄贈に対する感謝状

赤十字事業発展のため様々な貢献に対する赤十字功労表彰

当社の安全運転管理について研修などを積極的に導入し、従事者への啓発活動に対する表彰

富岡地域医療企業団より新型コロナウイルス感染症予防のNewヤクルト寄贈に対する感謝状

取り組み紹介
9

Special Feature

J2ザスパクサツ群馬

当社は、ザスパクサツ群馬がJリーグ参入当初からオフィシャルスポンサーとして応援しています。スポーツを通し、地域社会への元気と健康をお届けするため2021年シーズンも、オフィシャルスポンサーとしてザスパクサツ群馬を応援していきます。

2021シーズン ザスパクサツ群馬 スローガン

上 昇 喜 流²

監督・選手の紹介

日頃からのサポート、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
2021年チームスローガン『上昇喜流²』。情熱的で躍動感あるプレーをピッチで表現し、さらに大きな喜びと感動の輪を拡げたい。そのために1日1日を大切に、精進し邁進して参ります。

監督
奥野僚右 様

昨シーズンは序盤でなかなか結果が付いてこない時期がありましたが、ファン・サポーターの皆さん、スポンサーの皆さまの後押しもあり、最後の6試合を負けなしで終えることが出来ました。今シーズンは昨シーズン届かなかった勝点50に再びチャレンジし、さらに高みを目指していきます。コロナ禍ではありますが、今シーズンもスタジアムで共に戦いましょう。

FW 50
大前元紀 選手

Basic Management Policy

2021年度　経営基本方針

代表取締役会長　本田　博己　2021.4.1

1

経営基本方針　2020年4月

スピードをもって
変革を推進し、
地域社会に
新しい価値をもたらそう！

群馬ヤクルト販売株式会社
代表取締役 会長　本田 博己

2

宣言

2021年は
群馬ヤクルトの
新創業元年

3

ヤクルトの普及を通じて
社会的課題を解決する
（群馬ヤクルト ビジョン2020＋）

群馬ヤクルトは
共助社会の担い手 になる！

＊共助社会＝「自助」、「互助」や「公助」だけでは解決できない、社会的な助け合いの仕組みを持った地域社会

4

ビジョン実現の目標年は、･･･

15年先の **2035年**

◎ 2035年は、
ヤクルト創業100周年
（1935年 代田保護菌研究所創設）

◎ 夢（数値目標）は、
全社で**人口比 20%**
（「価値普及」の結果として）

5

新型コロナウイルス（COVID-19）の
パンデミックで明らかになったこと

1. 私たちは、この未曽有の事態に全員で対処し、従事者の生活と仕事を守りきった！
2. 私たちヤクルトの仕事は、社会に不可欠なエッセンシャル・ワークであると自覚できた！
3. お客様からの変わらぬ信頼は、私たちの長年の「エリア価値普及」の結果である！
4. 地域社会になくてはならない企業になるための変革（DXも含め）を加速しなければならない！

6

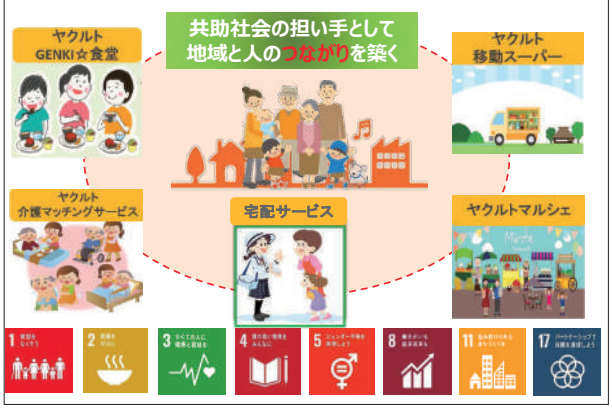
健康経営優良法人 ブライト500 に認定

群馬ヤクルトは、「健康経営優良法人の中でも優れた企業」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」と評価され、経済産業省の日本健康会議より、健康経営優良法人2021（中小規模部門：ブライト500*）に認定された。

* ブライト500：全国の健康経営優良法人の上位500法人

7

新ビジネスモデルグランドデザイン（プロジェクト最終報告より）



8

群馬ヤクルトの「エリア価値普及」とは

3つの価値を、お客様に届けること

1. ヤクルト製品の価値
2. ヤクルト従事者の価値
   （心を込めたサービス → 信頼）
3. 群馬ヤクルト（会社）の価値（地域社会へ貢献）

9

「つながり」とは、信頼の絆（きずな）

本年の主スローガン

強くて あたたかい
「つながり」を 築こう！

最高のチームを創ろう！

一人一人が主役

10

ビジョン実現のための新組織編成

2本部から3本部制に再編します。

マーケティング本部
＊化粧品サービス部を宅配サービス部に統合
・宅配サービス部　・直販サービス部

サステナベーション本部（呼称変更）
＊Sustainable（持続可能な）+Innovation
・総務部　・財務部　・基盤開発部

経営戦略本部（新設）
・未来価値創造部（←価値普及マーケティング部）
・広報部　・人材開発部

11

ビジョン実現のための
新たな分野の探索と、
当社独自のエリア価値
普及の深化を加速させ、
地域社会に新しい
価値をもたらしましょう！

Business Plan Outline

2021年度　事業計画骨子

代表取締役社長　塩谷　輝行　2021.4.1

1

＜基本方針＞

生命科学を基盤とする高品質の製品を真心を込めてお届けします。
お客さまの健康で楽しい生活のために心から寄り添い、全従事者の成長と夢の実現を支援し、一人でも多くの人に健康と美をお届けすることを使命に、地域で必要とされ選ばれ続ける企業を目指します。

2

＜行動規範＞

私たちが大切にしている価値観～
「革新の精神」

私たちは、世の中の動きを敏感に捉え、新たな価値を生み出すことに挑戦しよう

- ●現場力
- ●スピード
- ●イノベーション

3

＜重点課題＞

1．地域で選ばれ続ける企業になるために
「共助社会」の担い手になる

私たちが目指す共助社会の姿
個人の多様な価値観や意思が尊重されながら、新たな『つながり』が構築され、全員で作り上げていく地域社会

4

＜重点課題＞

2．会社と従事者が共に成長するために
ボイスの時間浸透・活性化

- ■生産性の向上
- ■イノベーション
- ■顧客満足の向上
- ■従事者エンゲージメントの向上

5

＜重点課題＞

3．ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化・ﾈｯﾄﾜｰｸ化の推進

ﾃﾞｰﾀとﾃﾞｼﾞﾀﾙ技術を活用して新しい群馬ヤクルトのﾈｯﾄﾜｰｸを確立する

業務そのものやビジネスモデルを変革するとともに、組織、プロセス、企業文化・風土を変革する

6

＜重点課題＞

4. 労働環境の整備

従事者全員がいきいき、モチベーション高く働ける環境づくり

- ■各人事制度、諸規定の見直し
- ■マイスター制度
- ■健康増進維持、管理の推進

7

＜重点課題＞

5. 顧客の拡大

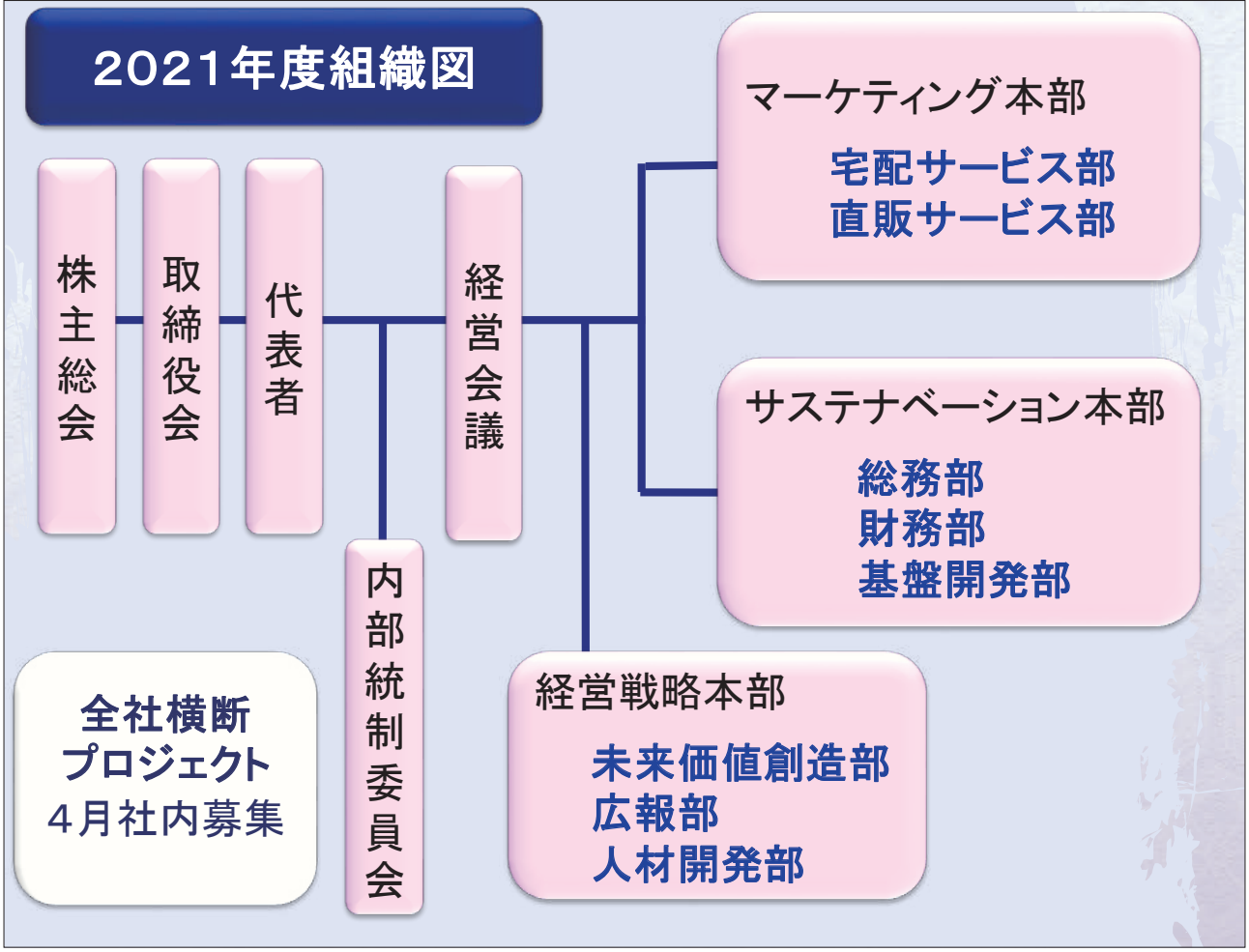
生命科学を基盤とする高品質の製品を真心を込めて提案

お客さまの悩みを解決

- ▼ Yakult1000
- ▼ Y1000
- ▼ 400W
- ▼ LACTDEW ラクトデュウ

8

2021年度組織図



A big dream in a small bottle